

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市西部会館駐車場	評価主体	市民部 西部出張所総務課
指定管理者	奈良市市街地開発株式会社 (非公募)	指定の期間	令和3年4月1日から 令和6年3月31日まで (3年間)
設置目的	交通渋滞の要因となる路上駐車場の解消によって道路交通の円滑化を図るとともに、市民の利便に供するため設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(月1回) ・日常の業務報告(月報・日報)の確認 ・実地調査	利用者の満足度調査等	—	実地調査実施日	令和5年7月11日
-------------	---	------------	---	---------	-----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	27,912,700	3,425,400	—	42,561	365	—	—	—
令和3年度	27,912,700	2,683,400	—	40,793	365	—	—	—

変動の大きい指標の変動理由 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の収束方向にあって、経済活動をコロナ前に戻していく国の方針もあり、学園前ホールや公民館におけるイベントや催しが増加し、それに伴って利用者数と収入が増加した。

特記事項

- ※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。
- ※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。  
利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。
- ※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	奈良市営駐車場条例及び施行規則に基づき、公正・公平かつ適正な運営を図った。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	事業活動の透明性を確保するために指定管理者においても情報公開要綱を策定し、情報公開の請求があれば速やかに公開できるように関係資料等を作成、保管している。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の出資法人会社として、一般民間組織以上に法令を遵守するため、職員に必要な教育が行われている。また、徹底を図るために必要なチェック体制の充実に努めている。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行が適正に行われたか。	経理の実施について、商法・会社法等に基づき、適正に処理している。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	機能保持、安全確保及び効率的な管理の観点から、その特性を十分に把握した上で必要な保守点検を行い、備品等については、備品台帳等を備え、無駄のない維持管理を行っている。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どりに行われたか。	迅速な避難誘導・安全対策がとれるように各種マニュアルを作成し、職員の指導・訓練に努めるとともに、施設管理者として保険に加入し、必要な対応を行っている。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	令和4年度は新型コロナウイルス感染症はゆるやかに収束方向にあることを踏まえて経済活動をコロナ前に戻していくという国の施策もあって、利用料金の収入は前年度に比して回復してきた。この傾向は今後も続いていくと思われ、事業についても計画通りに行われた。	B
	自主事業実施計画	—	—	—
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策が行われたか。	駐車場を利用する市民の状況を瞬時に判断し、より良いサービスを提供している。また苦情・トラブルについて、すぐに対応可能なことは迅速に対応し、判断を要することは市に速やかに報告し、対応を協議している。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	設備等が耐用年数を経過し、維持管理に対する労力が増える中、創意工夫により保守点検の合理化や光熱水費の節減等の管理の見直しを常に行うことで、これまでと同等の経費で運営を行っている	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	労働三法を遵守しながら柔軟かつ効率的な職員配置、勤務体制を実施した。避難訓練及び常駐警備研修・施設設備研修等を積極的に受講するとともに、公安委員会が定める現任教育を半期に一度受講することで、知識及び能力を向上させ、職員の習熟度を上げ、臨機応変な対応を可能にしている。	A
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務実績・ノウハウが施設管理に効果的に反映をされていたか。	類似施設の管理経験、実績を生かした、より効率的かつ効果的な施設管理を実施した。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に健全に事業を継続できる財政状況か。団体の財政状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	長期にわたる安定的な経営状態である。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること				

## 5. 総合評価

総合評価	類似施設の管理経験を生かし、経費の節減に積極的に取り組みつつ、駐車場の人員のスキルの向上を図り創意工夫による質の高い管理運営を行っている。またコロナウィルス感染症予防の観点から、職員への飛沫防止の徹底並びに利用者へのこまめな手指消毒の啓発等も率先して実施している。概ね事業計画の水準であり、内容によってはそれ以上の水準で管理運営を行っている判断できる。
指定管理者に対する指示・指導事項	特になし。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	特になし。
-------------------	-------

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市月ヶ瀬梅の資料館	評価主体	市民部 月ヶ瀬行政センター地域振興課
指定管理者	月ヶ瀬地域振興協議会 (非公募)	指定の期間	令和2年4月 1日から 令和5年3月31日まで (3年間)
設置目的	月ヶ瀬梅林に係る梅の資料を有効活用し、本市の観光事業及び観光産業の振興を図るとともに、地域振興の拠点として観光客及び市民の利便に共するため、月ヶ瀬梅の資料館を設置する		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報・日報)の確認 ・実地検査(年1回)	利用者の満足度調査等	・利用者アンケート ・意見箱の設置 ・利用者のとの意見交換会	実地調査実施日	6月23日
-------------	--	------------	--------------------------------------	---------	-------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	(使用料/利用料金)収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	9,000,000	-	17,900	15,771	308	-	-	-
令和3年度	9,000,000	-	18,500	15,199	282	-	-	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項	平成19年度より指定管理者制度導入							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。正等な理由なく一部の市民を優遇していないか。	入館は無料で、誰でも気軽に利用できる。観梅期間中は多くの観光客や市民が利用し、きめ細かい案内業務を行なった。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開実施規則等に基づいて、個人情報以外は、要求があればすぐに公開できるよう準備を行なった。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続に関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取扱った。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適切な経理の執行が適切に行なわれたか。	公益法人月ヶ瀬梅溪保勝会として、会計監査を実施することにより、適正な会計処理を行なった。少ない経費で大きな効果が生まれるような予算執行に努めた。現金の取り扱いにも十分注意し、盗難などのトラブルが起こらないように努めた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	設備・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	火気の使用には十分注意し、退館時の確実な施錠により、盗難、火災等の防止に努めた。開館時間中も巡回するなど日々注意を行なった。トラブル発生時の対応として、職員間での連絡体制を確立した。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保守・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	退館時には、責任者のチェックなど確実な施錠による盗難等の防止や火の元の確認により火災の防止に努めた。夜間や休館日等の対応として、警備会社へ委託し非常事態発生に備えた。緊急時には、即時対応することができるよう日頃から各関連機関との連絡を密にすると共に、職員間の連絡体制を整備している。職員に対する危機管理意識の高揚を図った。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	月ヶ瀬観光の中心となるべく施設であるということ考えながら、施設の安全性に留意することはもちろんのこと、月ヶ瀬を再訪問したくなるような事業を実施した。月ヶ瀬の情報発信源として、月ヶ瀬だけでなく奈良市内一内の最新情報の提供にも心がけた。また、墨書や墨絵など梅や梅溪に関わる資料の展示、紹介を行なった。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	月ヶ瀬梅溪梅まつりでは、館内において写真コンクールを実施するなど、梅まつりに積極的に関わった。また、梅まつり実施期間中は、休館日を臨時開館するなど観光客や市民に対してサービスの向上を図った。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	月ヶ瀬のマップやチラシ等だけでなく、近隣地域のチラシ等を取り揃え情報発信した。また、資料の充実を図りリピーターの増加に努めた。月ヶ瀬梅の資料館のホームページを管理し、利用の促進につながるPRを行なった。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効果を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の効果を損なわず、提案額内で施設を管理運営できており、運営上必要最小限の範囲に収めるなど、経費削減に努めている。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	月ヶ瀬の歴史や観光案内に精通し接客にも優れており、責任感のある職員を配置している。地元在住者を基本に配置し、館長、事務職員、作業職員による管理体制をとった。梅まつりなどの繁忙期には、臨時職員を雇用するなどサービスの低下につながらないように注意した。各施設の管理をスムーズに行えるよう、施設について熟知することはもちろん、観光案内に対する知識の向上に努めた。随時知識の共有の場を設け、職員間での観光情報の提供・交換等を行うことにより正しい理解と認識を深めた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績・ノウハウが施設管理に効果的に反映されたか。	観光案内施設として、月ヶ瀬に関する知識や地元としての意見等が十分に反映されていたといえる。職員も地元の住民として月ヶ瀬に精通しており、業務に適している。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財政状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	月ヶ瀬にはなくてはならない団体として認知されている。会費等による自主財源もあり、指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況にある。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	月ヶ瀬梅溪梅まつりをはじめとして、月ヶ瀬観光協会、自治連合会、各自治会、各種団体との連携を密にして相互理解を深めた。また、地域に密着し、地域と一体となった施設として管理することによって月ヶ瀬観光の一翼を担った。各事業にも、地域一体となって取組んだ。	B

## 5. 総合評価

総合評価	昨年に引き続きコロナ禍で特別なことがあった一年ではあるが、感染対策を徹底し奈良市月ヶ瀬梅の資料館の管理に当たっての基本方針や事業計画、協定書などに基づき適正かつ効果的に行うことができた。また、年間を通じて多くの方が来館頂けるよう、情報発信等PRの充実強化と共に地域内外の団体等と連携し、ホームページの充実を図ることができた。
指定管理者に対する指示・指導事項	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、今後の情勢を鑑みながらではあるが、観光産業の振興と地域振興の拠点であり、観梅期間だけでなく四季を通じての年間観光情報、梅やお茶など月ヶ瀬地域の農産物と加工品等月ヶ瀬ブランドの発信基地としての更なる活用を図るための情報発信等PRの充実強化と共に、地域内外の団体等と連携を図るなど、より一層の取り組みを行い年間を通じて来館頂けるよう指導を行った。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	年間を通じて多くの方が来館頂けるよう、情報発信等PRの充実強化と共に地域内外の団体等と連携を図り、ホームページの充実に取り組むことができた。
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市月ヶ瀬農畜産物処理加工施設	評価主体	市民部 月ヶ瀬行政センター地域振興課
指定管理者	月ヶ瀬地域振興協議会 (非公募)	指定の期間	令和2年4月 1日から 令和5年3月31日まで (3年間)
設置目的	地域の資源を有効活用し、特産品としての農畜産物等の加工を行なうことにより、地域住民の就労機会の確保及び所得の向上を図るため、農畜産物処理加工施設を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業報告書の確認(年1回)</li> <li>日常の業務報告(月報・日報)の確認</li> <li>実地検査(年1回)</li> </ul>	利用者の満足度調査等	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者アンケート</li> <li>意見箱の設置</li> <li>利用者のとの意見交換会</li> </ul>	実地調査実施日	6月23日
-------------	---	------------	---	---------	-------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	-	383,990	500	362	271	-	-	-
令和3年度	-	584,113	700	527	268	-	-	-
変動の大きい指標の変動理由	利用していた団体が解散したことにより、利用料及び利用人数が減少した。							
特記事項	平成19年度より指定管理者制度導入							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。正等な理由なく一部の市民を優遇していないか。	施設の利用については、奈良市農畜産物処理加工センター条例により、地域住民の利用に対して公平な運営を行い、誰もが気持ちよく利用できるよう管理を行った。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	情報公開を推進するため、指定管理者が行なう施設の管理業務に関する情報を市民が容易かつ的確に得られるよう情報提供及び文書の開示体制を整えた。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続に関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取扱った。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適切な経理の執行が適切に行なわれたか。	奈良市月ヶ瀬ふるさと振興会設置規定により、適正に執行した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	設備・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	施設の機能と環境を良好に維持するため、日常的に点検し、施設等の保全に努めると共に、理事、職員による草刈りや清掃作業等の保全を図った。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保守・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	開館・閉館時には、巡回による点検を行い、特殊設備については、専門業者により定期点検及び保守点検を行なった。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりにより事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	奈良市月ヶ瀬農畜産物処理加工施設の管理運営を行うと共に、農産加工グループを中心に地域住民の利用促進に努め、地域特産品の生産振興を図った。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりにより事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	新規特産品(梅シロップ・梅ジャム・梅チョコ等)の開発や加工を行い、農産物付加価値と特産品PRを行なった。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	地域で一人でも多く利用していただくよう機械の使用手法等の指導に努めた。また、原材料・資材等の購入についても、農家との購入窓口になり、安心安全性に努めた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効果を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	指定管理料は発生していないが、施設の効果を損なわず、施設を管理運営できている。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	労働基準法を厳守し、効果的に職員の配置と勤務体制に努めた。施設の管理運営や問題点を理事・職員間で研修を実施すると共に、校区の人権学習にも参加した。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績・ノウハウが施設管理に効果的に反映をされたか。	月ヶ瀬地区における他の文化施設の運営や利用状況等を分析し、事業展開に努めた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財政状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	幅広い年齢層の利用者があり、リピーターの定着も図られており、指定期間内に安定的に事業継続できる財務状況にある。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	自治会や地域の農業生産者と協働で展示や観光PRに努め、自治会駐車場の開放と観光案内に心がけた。	B

## 5. 総合評価

総合評価	農産物加工グループを中心に地域住民等の利用促進に努め、地域特産品の開発に努力していることは評価できる。
指定管理者に対する指示・指導事項	今後も、新規特産品の開発と各種PRやイベント等へ参画により販路拡大に努めるとともに、地域住民の活動の場として利用促進に努めるよう指導を行った。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	新規特産品の開発と各種PRなど販路拡大に努めると共に、地域住民の活動の場として利用促進に努めてくれた。
-------------------	---

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	農林漁業体験実習館（ロマンピア月ヶ瀬）	評価主体	市民部 月ヶ瀬行政センター地域振興課
指定管理者	月ヶ瀬地域振興協議会 (非公募)	指定の期間	令和2年4月 1日から 令和5年3月31日まで (3年間)
設置目的	地域の特産物である茶その他の農林水産物の販売及び加工体験をすることにより、農業及び農村に対する理解を深めるとともに、地域の活性化及び交流人口の拡大に資するため農林漁業体験学習館を設置する		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報・日報)の確認 ・実地検査(年1回)	利用者の満足度調査等	利用後に意見・要望等を聞き取り調査	実地調査実施日	6月23日
-------------	--	------------	-------------------	---------	-------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	-	3,814,060	11,100	8,718	300	-	-	-
令和3年度	-	2,895,375	12,300	6,492	289	-	-	-
変動の大きい指標の変動理由	アウトドア人気により、RVパークの利用者が増え、利用料や利用人数が増加した。							
特記事項	平成18年度より指定管理者制度導入							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	混雑する観梅期間は、市民が平等に安心して利用できるように、休憩所や交流施設として開放した。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	情報公開を推進するため、指定管理者が行なう施設の管理業務に関する情報を市民が容易かつ的確に得られるよう情報提供及び文書の開示体制を整えた。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適切に取扱った。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適切な経理の執行が適切に行なわれたか。	経理は適正に執行した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	設備・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	施設の機能と環境を良好に維持するため、日常的に点検し、施設の保全に努めると共に、職員による草刈りや清掃作業等の保全を図った。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保守・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	開館・閉館時には、巡回による点検を行い、特殊設備については、専門業者により定期点検及び保守点検の委託を行なった。軽微な点検や修繕は、職員が行なった。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	月ヶ瀬地域の特産物や加工品等を展示、販売するとともに、体験実習館としての施設本来の体験、イベントの開催や地域文化を通して都市住民との交流を図った。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	観梅期間は、月ヶ瀬地域特産物PRと観光案内を行なった。また、施設利用者以外の観光客にも駐車場の開放を行なった。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	観光ツアーやイベントの受け入れをはじめとする各種PRに努め、利用促進を図った。梅まつりの観梅期間中は、一人でも多く利用していただくよう、休憩の場として開放し、おいしいお茶を無料にて提供した。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効果を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	指定管理料は発生していないが、施設の効果を損なわず、施設を管理運営できている。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	管理運営業務を行なうために必要な業務執行体制を確保するとともに、労働基準法を厳守し、効果的に職員の配置と勤務体制に努めた。勤務体制は、館長1名を配置し、利用者に支障のないようにした。施設の管理運営に必要な知識と技術の習得のため職員研修を実施し、利用者が快適に利用できるように資質の向上に努めた。また、校区の人権学習にも参加した。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績・ノウハウが施設管理に効果的に反映をされたか。	月ヶ瀬地区における他の文化施設の運営や利用状況等を分析し、事業展開に努めた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財政状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	幅広い年齢層の利用者があり、リピーターの定着も図られており、指定期間内に安定的に事業継続できる財務状況にある。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	自治会や地域の農業生産者と協働で展示や観光PRに努め、駐車場の開放と観光案内に心がけた。	B
	経費縮減に対する方策	創意工夫で経費を削減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	体験学習やイベント等には、地域の農業者や自治会からボランティアとして協力いただき、人件費の削減に努めた。	B

## 5. 総合評価

総合評価	昨年に引き続きコロナ禍で特別なことがあった中でも、感染対策を徹底した上で月ヶ瀬地域の特産物や加工品等を展示、販売するなど、体験学習館としての施設本来の体験や地域文化を通じて都市住民との交流を図り、維持管理に努めたことが評価できる。また、RVパーク利用者の受け入れ等、より安全、安心、快適なま旅を提供することができた。
指定管理者に対する指示・指導事項	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、今後の情勢を鑑みながらではあるが、観光シーズン(観梅期)以外の施設利用者を増加させるために奈良晒・体験学習・RVパーク等積極的に活動の工夫やPR活動を積極的に図る必要がある。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、奈良晒・体験学習・RVパーク等積極的な活動を行った。また、RVパーク利用者の受け入れ等、より安全、安心、快適な旅を提供したことや、地域活性化推進事業の誘客部会の活動として、他団体や他施設との連携の強化を図りながら積極的に事業を行うことができた。
-------------------	--



# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	梅の郷月ヶ瀬温泉	評価主体	市民部 月ヶ瀬行政センター地域振興課
指定管理者	株式会社 月ヶ瀬振興協会 (公募)	指定の期間	平成31年4月 1日から 令和 5年3月31日まで (4年間)
設置目的	市民の健康増進及び観光の振興を図るため、温泉施設を設置する		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報・日報)の確認 ・実地検査(年1回)	利用者の満足度調査等	・利用者アンケート ・意見箱の設置 ・利用者のとの意見交換会	実地調査実施日	6月26日
-------------	--	------------	--------------------------------------	---------	-------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用者収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	-	44,715,000	67,100	75,211	291	-	-	-
令和3年度	-	39,064,000	72,300	65,354	291	-	-	-
変動の大きい指標の変動理由	新型コロナウイルス感染防止対策のための閉館がなかったこと、また観梅期の利用が増えたことによる増加。							
特記事項	平成20年度より指定管理者制度導入							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。正等な理由なく一部の市民を優遇していないか。	施設の利用については、奈良市温泉条例により、市民の利用に対して公平な運営を行い、誰もが気持ちよく利用できるよう管理を行った。観梅期間中は多くの観光客や市民が利用し、きめ細かい案内業務を行なった。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開実施規則等に基づいて、個人情報以外は、要求があればすぐに公開できるよう準備を行なった。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続に関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取扱った。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適切な経理の執行が適切に行なわれたか。	公認会計士との顧問契約を締結し適正な処理を行なった。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	設備・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	業務仕様書に基づき、利用者の安心・安全・快適をモットーに従前の体制を確保しながら、サービスの低下を招かぬよう、自社からの提案などによる効果的な管理に努めた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保守・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	安全で衛生的な施設の管理のため、環境衛生関係・施設管理関係・その他食品衛生法及び同法の関連法規、諸基準を厳守し、より積極的な衛生管理を行い、特にレジオネラ症の予防については恒常的かつ細心の注意を怠らないよう必要な措置を取るよう努めた。非常時の対策については、市や関係機関への連絡又は、応援を求めると、必要な措置を講じた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりにより事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	月ヶ瀬観光の拠点となるべき施設であるということを考えながら、施設の利用促進、利用者増への取組みと併せ、温泉の効果をHP等で積極的にPRを行なった。フードゾーンにおける料理については、地産地消を基本とした郷土料理をテーマに提供した。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりにより事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	観梅期間中(2月及び3月)は、休場日を臨時開場し、利用促進及びサービスの向上を図った。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	梅の郷月ヶ瀬温泉のホームページを管理し、利用の促進につながるPRを行なった。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効果を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	指定管理料は発生していないが、施設の効果を損なわず、施設を管理運営できている。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	面接審査により接客に優れており、責任感のある職員を配置している。地元在住者を基本に配置し、総支配人、支配人、業務担当職員、臨時職員による管理体制をとった。梅まつり期間、連休などの繁忙期には、職員を増員し、サービスの低下につながらないように注意した。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績・ノウハウが施設管理に効果的に反映されたか。	以前の管理運営経験者もスタッフとして積極的に雇用し、ノウハウについても熟知しており施設管理に効果的に反映されている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財政状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	顧問となる公認会計士に適時チェックと評価を依頼すると共に、温泉の運営の専門家の意見を得て、経営体制を整えた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	梅の郷月ヶ瀬温泉を基軸にした長期・短期、奈良市内と連携したタイプ別複数観光ルートプランの作成とPRにむけ計画に取組中であり、地域内の各種団体との連携を密にして相互理解を深めた。また、地域に密着し、地域と一体となった施設として管理することによって月ヶ瀬観光の拠点としての役割を担った。	B

## 5. 総合評価

総合評価	昨年に引き続きコロナ禍で特別なことがあった一年ではあるが、梅の郷月ヶ瀬温泉の管理に当たっての基本方針や事業計画、協定書などに基づき適正かつ効果的に行なうことができた。また、地域の観光拠点の施設として、HP等を通じて温泉の効能、食堂における地産地消を基本とした郷土料理等健康を提供し、観梅期間中(2月及び3月)は、休場日を臨時開場、隣接温泉やキャンプ場との連携等施設の利用促進、利用者増への取組みを積極的に行なった。
指定管理者に対する指示・指導事項	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、今後の情勢を鑑みながらではあるが、年間を通じて多くの方が利用頂けるために、情報発信等PRの充実強化を行い、地域の団体等と連携を図り中心的立場で地域活性化を図るよう指導を行った。来場者が快適に施設利用ができるように施設管理と、設備の非常事態にも対応できるように従業員教育と、施設間連携が出来るように指導を行った。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	安心して利用いただくための新型コロナウイルス感染防止対策の徹底と、年間を通じて多くの方が利用頂けるように地域の団体等と連携しながら、情報発信等のPRの充実強化とホームページの積極的な更新等利用者増へ積極的な取組みを行なった。
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	月ヶ瀬温泉ふれあい市場	評価主体	市民部 月ヶ瀬行政センター地域振興課
指定管理者	株式会社 月ヶ瀬振興協会	(公募)	指定の期間 平成31年4月 1日から 令和 5年3月31日まで (4年間)
設置目的	地域の農林産物、加工品、工芸品等の販売及び情報の発信を行なうことにより、当該地域の活性化、住民の所得及び就業意欲の向上並びに消費者との交流を図るため、特産品等直売施設を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報・日報)の確認 ・実地検査(年1回)	利用者の満足度調査等	・利用者アンケート ・意見箱の設置 ・利用者のとの意見交換会	実地調査実施日	6月26日
-------------	--	------------	--------------------------------------	---------	-------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	(使用料/利用料金)収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	-	-	73,300	71,160	318	-	-	-
令和3年度	-	-	77,100	70,816	318	-	-	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項	平成29年度より指定管理者制度導入							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。正等な理由なく一部の市民を優遇していないか。	混雑する観梅期間は、市民が平等に安心して利用できるように、休憩所や交流施設として開放した。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	情報公開を推進するため、指定管理者が行なう施設の管理業務に関する情報を市民が容易かつ的確に得られるよう情報提供及び文書の開示体制を整えた。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続に関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取扱った。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適切な経理の執行が適切に行なわれたか。	経理は複式簿記を導入し、適正に執行した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	設備・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	施設の機能と環境を良好に維持するため、日常的に点検し、施設等の保全に努めると共に、職員による草刈りや清掃作業等の保全を図った。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保守・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	開館・閉館時には、巡回による点検を行い、特殊設備については、専門業者により定期点検及び保守点検の委託を行なった。軽微な点検や修繕は、職員が行なった。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A: 協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B: 協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C: 協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	月ヶ瀬温泉ふれあい市場の管理運営を行うと共に、月ヶ瀬地域の特産物や加工品等を販売すると共に、イベントの開催や地域文化を通して都市住民との交流を図った。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	観梅期間中(2月及び3月)は、休場日を臨時開場し、利用促進及びサービスの向上を図った。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	地域の各団体と連携を密にしての広報等、利用の促進につながるPRを行なった。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効果を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	指定管理料の提案なし	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	管理運営業務を行なうために必要な業務執行体制を確保するとともに、労働基準法を厳守し、効果的に職員の配置と勤務体制に努めた。勤務体制は、店長1名を配置し、利用者に支障のないようにした。施設の管理運営に必要な知識と技術の習得のため職員研修を実施し、利用者が快適に購入できるように資質の向上に努めた。また、校区の人権学習にも参加した。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績・ノウハウが施設管理に効果的に反映をされたか。	月ヶ瀬地区における他の文化施設の運営や利用状況等を分析し、事業展開に努めた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財政状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	広い年齢層の利用者があり、リピーターの定着も図られており、指定期間内に安定的に事業継続できる財務状況にある。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	月ヶ瀬梅溪梅まつりをはじめとして、月ヶ瀬観光協会、自治連合会、各自治会、各種団体との連携を密にして相互理解を深めた。また、地域に密着し、地域と一体となった施設として管理することによって月ヶ瀬観光の一翼を担った。各事業にも、地域一体となって取組んだ。	B

## 5. 総合評価

総合評価	昨年度に引き続き、コロナ禍で特別なことがあった一年であるが、月ヶ瀬温泉ふれあい市場の管理に当たっての基本方針や事業計画、協定書などに基づき適正かつ効果的に行うことができた。また、梅やお茶など月ヶ瀬地域の農産物と加工品等の販売等利用促進への取組を積極的に行った。
指定管理者に対する指示・指導事項	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、今後の情勢を鑑みながらではあるが、今後も来場者が年間を通じ安心して快適に利用できるとともに、更に多くの方々に来ていただける施設となるように、管理を充分に行うよう指導を行った。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するなど、安心して来場頂くための対策と、年間を通じて多くの方が来場頂けるように、地域内各団体と連携を密にして情報発信等を積極的な広報等の取組を行なった。
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	湖畔の里つきがせ	評価主体	市民部 月ヶ瀬行政センター地域振興課
指定管理者	月ヶ瀬地域振興協議会 (非公募)	指定の期間	令和2年4月 1日から 令和5年3月31日まで (3年間)
設置目的	地域で生産される茶その他の農林水産物を販売するとともに、地域の食材を利用した郷土料理等を提供することにより、地域の活性化、農家所得の向上等を図るため、農林水産物直売・食材供給施設を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報・日報)の確認 ・実地検査(年1回)	利用者の満足度調査等	・利用者アンケート ・意見箱の設置 ・利用者のとの意見交換会	実地調査実施日	6月26日
-------------	--	------------	--------------------------------------	---------	-------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	(使用料/利用料金)収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	-	-	29,600	32,285	307	-	-	-
令和3年度	-	-	29,900	30,495	281	-	-	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項	平成29年度より指定管理者制度導入							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。正等な理由なく一部の市民を優遇していないか。	混雑する観梅期間は、市民が平等に安心して利用できるように、休憩所や交流施設として開放した。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	情報公開を推進するため、指定管理者が行なう施設の管理業務に関する情報を市民が容易かつ的確に得られるよう情報提供及び文書の開示体制を整えた。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続に関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取扱った。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適切な経理の執行が適切に行なわれたか。	経理は複式簿記を導入し、月ヶ瀬商工会に委託し、適正に執行した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	設備・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	施設の機能と環境を良好に維持するため、日常的に点検し、施設等の保全に努めると共に、職員による草刈りや清掃作業等の保全を図った。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保守・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行なわれたか。	開館・閉館時には、巡回による点検を行い、特殊設備については、専門業者により定期点検及び保守点検の委託を行なった。軽微な点検や修繕は、職員が行なった。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりにより事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	月ヶ瀬観光の拠点となるべき施設であるということを考えながら、施設の利用促進、利用者増への取組みと併せ、HP等で積極的にPRを行なった。フードゾーンにおける料理については、地産地消を基本とした料理を提供した。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりにより事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	観梅期間中(2月及び3月)は、休場日を臨時開場し、利用促進及びサービスの向上を図った。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	地域団体等と連携を密にしての広報と湖畔の里つきがせのSNSを活用し、利用の促進につながるPRを行なった。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効果を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	指定管理料は発生していないが、施設の効果を損なわず、施設を管理運営できている。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	労働基準法を厳守し、効果的に職員の配置と勤務体制に努めた。施設の管理運営や問題点を理事・職員間で研修を実施すると共に、校区の人権学習にも参加した。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績・ノウハウが施設管理に効果的に反映をされたか。	月ヶ瀬地区における他の文化施設の運営や利用状況等を分析し、事業展開に努めた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財政状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	幅広い年齢層の利用者があり、またリピーターの定着も図られており、指定期間内に安定的に事業継続できる財務状況にある。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	月ヶ瀬梅溪梅まつりをはじめとして、月ヶ瀬観光協会、自治連合会、各自治会、各種団体との連携を密にして相互理解を深めた。また、地域に密着し、地域と一体となった施設として管理することによって月ヶ瀬観光の一翼を担った。各事業にも、地域一体となって取組んだ。	B

## 5. 総合評価

総合評価	昨年に引き続きコロナ禍で特別なことがあった一年ではあるが、感染対策を徹底し湖畔の里つきがせの管理にあったっての基本方針や事業計画、協定書などに基づき適正かつ効果的に行なうことができた。また、月ヶ瀬地域の特産物や加工品等を展示、販売すると共に、食堂における地産地消を基本とした料理等を提供し、観梅期間中(2月及び3月)は、休場日を臨時開場し、利用者増への取組みを積極的に行なった。
指定管理者に対する指示・指導事項	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、今後の情勢を鑑みながらではあるが、地域の観光振興のため、オフシーズン(観梅期間外)も観光施設や交流施設として利用促進を図るよう指導を行った。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	安心して来場いただくための新型コロナウイルス感染防止対策の徹底と、年間を通じて多くの方が来場頂けるように、情報発信等PRの充実強化するため、地域団体等のホームページへの掲載やSNSの積極的な更新等利用者増への取組を積極的に行なった。
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市都祁農畜産物処理加工施設 奈良市都祁農林水産物処理加工施設	評価主体	市民部 都祁行政センター 地域振興課
指定管理者	地域活性化局共同体 (公募)	指定の期間	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
設置目的	地域の資源を有効活用し、特産品としての農畜産物等の加工を行うことにより、地域住民の就労機会の確保及び所得の向上を図ることを目的として運営する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常業務報告(月報)の確認	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和5年7月14日
-------------	----------------------------------	------------	---------	-----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	(使用料/利用料金)収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	—	0	—	—	340	—	—	—
令和3年度	—	0	—	—	341	—	—	—
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	施設の利用について、奈良市農産物処理加工センター条例に基づき、利用者に対して公平な運営・管理が行われた。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理業務に関する情報については、奈良市情報公開施行規則等に基づいて、必要に応じて提供できる体制を整えられた。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	個人情報の保護・法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市個人情報保護条例等、関係法令の規定に基づき、公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が行われたか。	税理士事務所と月次監査、決算事務指導、並びに税務申告等の業務委託契約により、正確かつ適正な経理が行われた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	日常的に点検を行うことで、施設の利用環境を良好に維持し、施設や設備等の保全を図られた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保全・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	開館・閉館時には巡回による点検を行い、設備については専門業者による定期点検及び保守点検を行った。また、軽微なものについては、職員によって対応された。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	新型コロナウイルス感染症対応により特産品や祭り用の餅の受託加工の減少が続いている。	C
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地域農産物を活用した特産品の研究及び商品開発に取り組まれた。また、商品の一部が特急列車車内や有名旅館等へ販売ルートが維持された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。	針TRS情報館のホームページを利用した広報活動に努めることで、利用促進が図られた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額			
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限を含む。)であったか。	事務長以下、施設管理や事業に精通した職員を配置し、支障なく業務を遂行された。また県文教の研修や資格講習会へも積極的に参加し、職員の資質向上にも努められた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績、ノウハウが施設管理に効果的に反映されていたか。	市内の財団統廃合によるスケールメリットを活かし、文化・スポーツ施設が連携できる環境整備に努められた。	B
	財務状況の健全性	指定期間内に安定的に事業を継続できる財務状況であるか。	予算管理の徹底により、健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること				

## 5. 総合評価

総合評価	施設管理者として、適切・効率的な運営及び事業が実施できた。
指定管理者に対する指示・指導事項	時節に応じた地域の農産物を積極的に活用して、加工した地場産品を地域外へ発信する取り組みを進めてください。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	より付加価値の高い商品の開発、販路の拡大に努めてください。 →販売ルート拡大により全国的な商品発信ができた。 新型コロナウイルス感染症対策については、状況に応じ適切に対応してください。
-------------------	--



# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市都祁交流センター	評価主体	市民部 都祁行政センター 地域振興課
指定管理者	一般財団法人 奈良市総合財団 (公募)	指定の期間	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
設置目的	市民の文化の振興と福祉の増進を図るとともに、地域間交流を促進することを目的として運営する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告の(月報)の確認	利用者の満足度調査等	・利用者アンケート(館内設置)	実地調査実施日	令和5年7月14日
-------------	------------------------------------	------------	-----------------	---------	-----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	33,893,000	886,700	9,300	12,152	272	—	12.6(ホール)	—
令和3年度	30,300,000	582,100	18,300	9,229	264	—	9.3(ホール)	—
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として收受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	当施設に係る条例・施行規則に基づき誠実に対応された。また、市・財団のホームページによる周知を行い、利用者の平等性を徹底された。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開施行規則や奈良市総合財団の情報公開要綱に基づき適正に対応された。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	個人情報の保護・法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市個人情報保護条例等、関係法令の規定に基づき、公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、そのための具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市総合財団内でも会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われた。また少ない予算で大きな効果が得られる予算執行に努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準通りに行われたか。	耐用年数を大幅に超えている施設設備の現状を踏まえ、適切な保守点検業務委託を維持しつつ、管理費を可能な限り縮減するよう努められた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保全・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準通りに行われたか。	緊急対応マニュアルを策定し、非常時に備えている。また自衛消防組織を編成し、普通救命講習を受講するなど、緊急時の初動体制の確立に努められた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う利用制限等により計画どおりに事業を実施できなかった。施設管理事業においては、安心・安全を最優先に考えた施設の維持管理業務が効率的・効果的に行われた。	C
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	限られた予算の中で、創意工夫を取り入れた事業が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症対応により残念ながら利用制限を余儀なくされた。	C
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。	市・財団のホームページを利用した広報活動に努められた。また、周辺公共施設や自治連合会や自治会にもチラシ等を配布するなど広報活動を実施された。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	経費の縮減が図られているか。	全般の業務内容を見直し、新電力の導入等により、光熱水費・燃料費・委託費・人件費等の削減に努められた。しかし、想定されない極端な光熱水費等の高騰に見舞われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限を含む。)であったか。	事務長以下、施設管理や事業に精通した職員を配置し、支障なく業務を遂行された。また県文教の研修や資格講習会へも積極的に参加し、職員の資質向上にも努められた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績、ノウハウが施設管理に効果的に反映されていたか。	市内の財団統廃合によるスケールメリットを活かし、文化・スポーツ施設が連携できる環境整備に努められた。	B
	財務状況の健全性	指定期間内に安定的に事業を継続できる財務状況であるか。	予算管理の徹底により、健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	施設の設置目的に対する考え方	市の方針・施設の性格・設置目的等を的確に把握し、指定管理者となる意義や責務を認識しているか。	当施設は住民の文化振興と福祉の増進、地域間・世代間交流の促進を図ることを目的に設置されたものであり、地域における特有の文化芸術の発掘と人づくり、地域づくりの拠点となるよう取り組まれた。	B
	文化振興に対する考え方	施設を管理運営する上で、文化振興についてコンセンサスがあるか。	当施設の設置目的と奈良市が進める文化振興計画に沿った運営をめざし、その地域に合った密着型の事業展開が文化振興につながると考えられている。	B
	施設の管理運営に対する熱意・意欲	指定管理者として、施設を管理運営することに対する熱意や施設の設置目的の達成に対する意欲があるか。	常に利用者の目線で日々の管理運営を行い、地域間・世代間交流を意識した環境づくりに努められた。	B
	行政との連携	指定管理者として、行政と円滑に連携できているか。市の方針に対する理解は十分か。	基本協定、年度協定書に基づいた管理運営が行われた。また、施設と所管課が近距離に位置するため、こまめに報告、連絡、相談を行った。	B

## 5. 総合評価

総合評価	<p>施設管理者として、適切な管理が実施できた。</p> <p>事業実施や自主事業については、新型コロナウイルス感染症対応により、残念ながら利用制限を余儀なくされた。</p> <p>管理者・所管課が連携して、施設の老朽化が進んでいる中、利用者へのサービスを低下することなく施設の管理運営を進めていきたい。</p>
指定管理者に対する指示・指導事項	<p>引き続き、利用者の目線に立った安心・安全な施設運営に努めてください。</p> <p>また、小規模でも継続できるような、地域に密着した自主事業の展開を図ってください。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策については、多数の方が利用する施設であるため状況に応じ適切に対応してください。</p>

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	引き続き、市民・地域の各種団体との連携を深めた事業の実施を推進してください。
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市都祁体育館	評価主体	市民部 都祁行政センター 地域振興課
指定管理者	一般財団法人 奈良市総合財団	(公募)	指定の期間 平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
設置目的	市民の体育・スポーツの振興を図るとともに、文化の向上に資することを目的として運営する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告の(月報)の確認	利用者の満足度調査等	・利用者アンケート(令和元年度・令和2年度未実施)	実地調査実施日	令和5年7月14日
-------------	------------------------------------	------------	---------------------------	---------	-----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	6,908,000	739,905	9,050	8,893	297	—	49.5	—
令和3年度	6,350,000	858,680	6,700	9,024	298	—	64.5	—
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	当施設に係る条例及び施行規則に基づき、利用者が公平に使用できる環境を整えられた。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開施行規則や奈良市総合財団の情報公開要綱に基づき適正に対応された。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	個人情報の保護・法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市個人情報保護条例等、関係法令の規定に基づき、公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、そのための具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市総合財団内でも会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われた。また少ない予算で大きな効果が得られる予算執行に努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準通りに行われたか。	施設・備品等の維持、保全業務について迅速かつ適切な対応を心がけていた。業務管理計画に基づき、効率的・効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保全・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準通りに行われたか。	緊急対応マニュアルを策定し、非常時に備えている。また自衛消防組織を編成し、普通救命講習を受講するなど、緊急時の初動体制の確立に努められた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い自主的な事業の実施には至らなかった。施設管理事業においては、安心・安全を最優先に考えた施設の維持管理業務が効率的・効果的に行われた。	C
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	新型コロナウイルス感染症対応により自主事業計画は見送った。	C
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。	財団内のスポーツ振興グループと連携しながら利用促進を図り、また、奈良県電子自治体共同運営システムの施設予約サービスを導入して、市内・市外を問わず利用者の増加につながるものとなった。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	経費の縮減が図られているか。	全般の業務内容を見直し、新電力の導入等により、光熱水費・燃料費・委託費・人件費等の削減に努められた。しかし、想定されない極端な光熱水費等の高騰に見舞われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限を含む。)であったか。	開館時間中は職員が常駐し、施設予約システムの導入により、受付体制の充実を図られた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績、ノウハウが施設管理に効果的に反映されていたか。	市内の財団統廃合によるスケールメリットを活かし、文化・スポーツ施設が連携できる環境整備に努められた。	B
	財務状況の健全性	指定期間内に安定的に事業を継続できる財務状況であるか。	予算管理の徹底により、健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	施設の運営管理に対する熱意・意欲	指定管理者として施設を管理運営することに対する熱意や、施設の設置目的の達成に対する意欲があるか。	常に利用者の目線で日々の管理運営を行い、地域間・世代間交流を意識した環境づくりに努められた。	B
	スポーツ振興に対する考え方	施設を管理運営する上で、スポーツ振興についてコンセンサスがあるか。	当施設の設置目的と奈良市が進めるスポーツ振興計画に沿った運営をめざし、その地域に合った密着型の事業展開がスポーツ振興につながると考えられている。	B
	行政との連携	指定管理者として、行政と円滑に連携できているか。市の方針に対する理解は十分か。	基本協定、年度協定書に基づいた管理運営が行われた。また、施設と所管課が近距離に位置するため、こまめに報告、連絡、相談を行うことで、両者の連携を円滑に行うことができた。	B
	環境に対する配慮	環境に対する団体の社会責任について認識があり、そのために具体的・効果的な方策があるか。環境負担の軽減に対する取り組みはあるか。	利用者への協力要請を行うなど、節電、節水に努められた。	B

## 5. 総合評価

総合評価	<p>施設管理者として、適切・効率的な管理が実施できている。</p> <p>自主事業については、新型コロナウイルス感染症対応により、残念ながら中止を余儀なくされた。</p> <p>管理者・所管課が連携して、施設の老朽化が進んでいる中、利用者へのサービスを低下することなく施設の管理運営を進めていきたい。</p>
指定管理者に対する指示・指導事項	<p>引き続き、利用者の目線に立った安心・安全な施設運営に努めてください。</p> <p>また、小規模でも継続できるような、地域に密着した自主事業の展開を図ってください。</p>

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	<p>施設予約サービスを活用し、地域内外に向けた施設のPRを行い、稼働率の向上に努めてください。</p> <p>→稼働率は前年度比15.0%減であった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策については、多数の方が利用する施設であるため状況に応じ適切に対応してください。</p>
-------------------	---

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市都祁生涯スポーツセンター等4施設	評価主体	市民部 都祁行政センター 地域振興課
指定管理者	一般財団法人 奈良市総合財団 (公募)	指定の期間	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
設置目的	市民の体育・スポーツの振興を図るとともに、文化の向上に資することを目的として運営する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告の(月報)の確認	利用者の満足度調査等	・利用者アンケート(受付設置)	実地調査実施日	令和5年7月14日
-------------	------------------------------------	------------	-----------------	---------	-----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	10,574,000	1,493,785	17,800	18,086	297	—	別紙	—
令和3年度	9,986,000	1,693,105	21,500	17,740	298	—	別紙	—
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	当施設に係る条例及び施行規則に基づき、利用者が公平に使用できる環境を整えられた。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開施行規則や奈良市総合財団の情報公開要綱に基づき適正に対応された。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	個人情報の保護・法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市個人情報保護条例等、関係法令の規定に基づき、公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、そのための具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市総合財団内でも会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われた。また少ない予算で大きな効果が得られる予算執行に努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準通りに行われたか。	施設・備品等の維持、保全業務について迅速かつ適切な対応を心がけていた。業務管理計画に基づき、効率的・効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保全・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準通りに行われたか。	緊急対応マニュアルを策定し、非常時に備えている。また自衛消防組織を編成し、普通救命講習を受講するなど、緊急時の初動体制の確立に努められた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う利用制限により、自主的な事業の実施には至らなかった。各種団体の協賛を行うことで施設の有効活用が行われた。	C
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	自主事業として、ヨガ教室、ノルディックウォーキング教室、スロージョギング教室事業を計画されていたが、新型コロナウイルス感染症対応により残念ながら中止を余儀なくされた。	C
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。	財団内のスポーツ振興グループと連携しながら利用促進を図り、また、奈良県電子自治体共同運営システムの施設予約サービスを導入して、市内・市外を問わず利用者の増加につながるものとなった。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	経費の縮減が図られているか。	全般の業務内容を見直し、新電力の導入等により、光熱水費・燃料費・委託費・人件費等の削減に努められた。しかし、想定されない極端な光熱水費等の高騰に見舞われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限を含む。)であったか。	開館時間中は職員が常駐し、施設予約システムの導入により、受付体制の充実が図られた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績、ノウハウが施設管理に効果的に反映されていたか。	市内の財団統廃合によるスケールメリットを活かし、文化・スポーツ施設が連携できる環境整備に努められた。	B
	財務状況の健全性	指定期間内に安定的に事業を継続できる財務状況であるか。	予算管理の徹底により、健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	施設の運営管理に対する熱意・意欲	指定管理者として施設を管理運営することに対する熱意や、施設の設置目的の達成に対する意欲があるか。	常に利用者の目線で日々の管理運営を行い、地域間・世代間交流を意識した環境づくりに努められた。	B
	スポーツ振興に対する考え方	施設を管理運営する上で、スポーツ振興についてコンセンサスがあるか。	当施設の設置目的と奈良市が進めるスポーツ振興計画に沿った運営をめざし、その地域に合った密着型の事業展開がスポーツ振興につながると考えられている。	B
	行政との連携	指定管理者として、行政と円滑に連携できているか。市の方針に対する理解は十分か。	基本協定、年度協定書に基づいた管理運営が行われた。また、施設と所管課が近距離に位置するため、こまめに報告、連絡、相談を行うことで、両者の連携を円滑に行うことができた。	B
	環境に対する配慮	環境に対する団体の社会責任について認識があり、そのために具体的・効果的な方策があるか。環境負担の軽減に対する取り組みはあるか。	利用者への協力要請を行うなど、節電、節水に努められた。	B

## 5. 総合評価

総合評価	施設管理者として、適切・効率的な管理が実施できている。 自主事業については、新型コロナウイルス感染症対応により、残念ながら中止を余儀なくされた。 管理者・所管課が連携して、施設の老朽化が進んでいる中、利用者へのサービスを低下することなく施設の管理運営を進めていきたい。
指定管理者に対する指示・指導事項	引き続き、利用者の目線に立った安心・安全な施設運営に努めてください。 また、小規模でも継続できるような、地域に密着した自主事業の展開を図ってください。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	施設予約サービスを活用し、地域内外に向けた施設のPRを行い、稼働率の向上に努めてください。 →稼働率は、球技場で前年度比7%減、テニスコートで前年度比2.7%増であった。 新型コロナウイルス感染症対策については、多数の方が利用する施設であるため状況に応じ適切に対応してください。
-------------------	---

公の施設内に複数の施設がある場合の各施設の名称及び施設稼働率の一覧表

番号	施設名 (例)Aホール、Bホール等	施設稼働率(%)	
		令和4年度	令和3年度
1	都祁生涯スポーツセンター球技場	17.8%	19.7%
2	都祁生涯スポーツセンターテニスコート	23.7%	25.6%
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市斎苑 旅立ちの杜	評価主体	市民部 斎苑管理課
指定管理者	株式会社まほろばの杜 (非公募)	指定の期間	令和4年4月1日から 令和19年3月31日まで (15年間)
設置目的	奈良市斎苑 旅立ちの杜における火葬業務等について、ご遺族並びに会葬者の心情に寄り添い、きめ細やかな葬送サービスを提供する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業報告書の確認(年1回)</li> <li>日常の業務報告(月報)の確認</li> <li>実地調査(年12回)</li> </ul>	利用者の満足度調査等	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者アンケート(令和4年8月実施、回答者数1,141人)</li> <li>指定管理者主催のアンケート用紙設置や後日要望をハガキ配布(計305件)</li> </ul>	実地調査実施日	-
-------------	---	------------	--	---------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	148,313,000円	149,744,000円	4,000人	5,270人	362日	50%	66%	80%
	-	-	-	-	-	-	-	-

変動の大きい指標の変動理由  
供用開始初年度であり、実際の利用件数は未知数であったが、市外利用者の増加に伴い想定件数を大きく上回る結果となった。

特記事項  
令和4年4月1日より施設を供用開始。

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	奈良市火葬場条例及び施行規則に基づき、厳正に使用承認を行っている。また、ホームページによる施設の空き状況の開示しており、施設運営の公平性と透明性を確保している。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	指定管理者による施設独自のホームページを作成し、Webデザイナーや市と協議の上、利用者目線のレイアウトとした。また、コロナ禍における利用方法の変更なども随時更新し、漏れの無い情報提供に努めた。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守、個人情報の保護及び人権の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	墓地、埋葬等に関する法律、奈良市火葬場条例及び同条例施行規則を含め関係法令を理解し、管理部門職員が職員に逐次指導している。個人情報についても、施錠できるキャビネットへの保管徹底とセキュリティ体制の充実したNTTデータセンター内にサーバーを設置して、漏洩防止に努める。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	火葬場使用料等の現金の取り扱いについて、警備会社の入金機オンラインシステムを導入し、盗難等のトラブル防止と市への確実な入金に努めた。また、日々の公金徴収業務について、毎日市とのダブルチェックを行い、漏れのない管理体制を構築している。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が業務仕様書に定める水準を満たし、具体的・効果的であるか。	日常点検に加え、年初に計画した定期点検を予め作成したチェックシートに基づき実施。令和4年度は、ゲリラ豪雨により一部雨水侵入が確認されたことから、排水経路を改修するとともに、当初は予定していなかった大規模な半年点検を実施し、施設への影響の未然防止に努めた。建物や火葬炉においては、長期修繕計画を定め、施設の長寿命化や維持管理コストの削減を図る。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が業務仕様書に定める水準を満たし、具体的・効果的であるか。 また、利用者の事故等に対する補償及び賠償について具体的・効果的な方策があるか。	監視カメラを必要に応じて適宜増設し、機械警備を併用して24時間365日体制の警備を実施。また、利用者の事故等に対しては、第三者賠償責任保険に加入し有事に備えている。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	事業計画や要求水準書に沿った事業が展開され、奈良市の火葬業務を滞りなく実施することができた。	B
	自主事業実施計画	自主事業は、利用者の要望に沿った取り組みとなっているか。	売店では菓子類だけでなく、骨壺や数珠、動物火葬用段ボールなど利用者目線での商品構成に取り組み、地元企業の葛餅を置くなど地域活性化にも寄与した。一方で、仕出しメニューには利用者から変更を望む声も一定数あり課題となっている。	C
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	待合フロアの床や携帯電話やインターネット環境の整備、売店でクレジットカード決済の対応など、利用者の声に率直に耳を傾け、多くの箇所について改善を図った。	A



区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	管理運営経費の縮減策	施設の効果を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行なわれたか。	安全性と利便性を保ち、効率化を中心とした経費削減を進めている。維持管理についても、計画的に実施することで縮減を図っている。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	維持管理・運営業務を総合的に把握し、統括管理する施設長を中心に人員を配置。積極的に地元雇用を行い、事前に研修を行った上で業務の知識と技術力の向上を図っている。また、防災管理者や食品衛生責任者といった必要に応じた講習も受講している。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他類似事業の業務の実績・ノウハウが施設管理に効果的に反映されたか。	指定管理者は、全国で多数の斎場の管理運営実績を有しており、そこで得たノウハウやトラブル事例を共有し、施設計画や維持管理運営マニュアルに反映させることで経費縮減を図っている。また、想定外のリスク発生に備え予備費や内部留保金積立を準備している。	B
	財務状況の健全性	指定期間内に安定的に事業を継続できる財政状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか	SPC(特別目的会社)として、資産の管理・運用それ自体が本業であり、他の事業の影響を受けることはない。会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われており、自主事業なども含め指定期間内に安定的に事業を継続できる財務状況にある。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	施設の管理運営に対する熱意・意欲	指定管理者として、施設を管理運営することに対する熱意や、施設の設置目的の達成に対する意欲があるか。	管理運営を行うにあたり、様々な研修を継続的に実施することにより、スタッフ一人ひとりのスキルアップを図り、施設の設置目的を達成するための体制を整えている。	B
	行政との連携	これまで指定管理者あるいは委託事業の受託者として行政と円滑に連携してきた実績はあるか。市の方針に対する理解は十分か。	施設所管課だけでなく、関連する部署と連動し、施設の設置目的を理解した運営が出来ている。定例会議以外にも市とのコミュニケーションを頻繁にとり、市主催のイベント等にも協力的である。	B
	リスク管理体制の整備	運営に影響が出るリスクとその対応策を事前に想定するとともに、災害等緊急事態が発生した場合においても火葬業務を滞りなく実施できる体制が構築されているか。	災害対策・大規模災害マニュアルを策定しているとともに、有事に備えるとともに、事業期間中の緊急事態発生時にも市外・県外の拠点から24時間以内に現地に応援を派遣する体制を構築している。	B
	地域に根差した事業の実施	市民の雇用や業務に関連する発注に市内の事業者を用いるなど、地域に根ざして事業を進める姿勢はあるか。	維持管理・運営における地元企業の積極的な活用、地元人材の雇用を展開している。また、自主事業の売店並びに仕出しについても地元企業を活用し地域経済発展に寄与している。	B

## 5. 総合評価

総合評価	供用開始初年度で想定外の事象も多い中、利用者目線に立ち積極的な改善への取り組みと適正・効率的な施設運営が実施された。1年間の実績と傾向、利用者の要望に基づく改善の継続を期待したい。
指定管理者に対する指示・指導事項	仕出しメニューの改善

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市ボランティアセンター	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会 (非公募)	指定の期間	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
設置目的	市民の地域福祉活動への積極的な参加促進を図るとともに、さまざまな分野で広がりをもたせるボランティア活動を支援する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業報告書の確認(年1回)</li> <li>利用状況報告の確認(月1回)</li> <li>相談件数報告の確認(月1回)</li> <li>経理状況の確認(月1回)</li> <li>ボランティア代表者会議への出席(月1回)</li> </ul>	利用者の満足度調査等	施設利用者アンケート調査を実施。	実地調査実施日	(最終)令和5年3月7日
-------------	---	------------	------------------	---------	--------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	(使用料/利用料金)収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	26,500,000円	-	10,500	9,153	293	-	別紙記載	別紙記載
令和3年度	26,500,000円	-	-	8,938	293	-	別紙記載	別紙記載
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	ボランティアセンター利用登録制度と、1ヶ月前からの利用予約受付を実施するほか、利用者に対して時間の遵守を呼びかけるなど平等な利用が確保された。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	指定管理者がHPを作成し、登録団体の情報、ボランティアの募集情報、イベント情報、助成金などの情報を随時発信していた。また、「ボラセンだより」(月1回)や、市のボランティアインフォメーションセンターとともに「ボランティア・NPO団体活動メンバー募集一覧」(年2回)を発行するなど、最新の情報を発信していた。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市ボランティアセンターの管理に関する基本協定書に基づき、奈良市ボランティアセンター条例をはじめとする種々の法令の必要性及び重要性を理解し遵守されていた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行が行われたか。	毎年度決算書等の報告が行われ、市担当課が確認を行なっている。公の業務としての経理の重要性の認識があり、経理の執行が適正に行われていた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準のとおり行われたか。	奈良市ボランティアセンターの管理に関する基本協定書及び年度協定書に基づき、施設の維持管理は、専門性を有する業者に委託するほか、職員が日常的に点検を行い、異常がある場合は速やかに市に報告した。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保全・警備その他の施設の安全対策、事故・火災等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準のとおり行われたか。	毎年1回、登録団体と共に「奈良市ボランティアセンター消火・通報・避難訓練」を実施し、非常時に迅速に対応できるよう備えられた。また、「災害ボランティアセンター」としての機能の整備が進められ、災害時に必要な支援や調整を迅速に行うための体制の確立に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画通りの成果があったか。	窓口での相談や貸館業務、講座などの事業を実施し、ボランティア団体への支援を幅広く実施した。	B
	自主事業実施計画	自主実施計画どおりに事業が実施されたか。計画通りの成果があったか。	ボランティア団体の充実及び新たな人材の育成を図るためボランティア養成講座を実施し、ボランティア活動における技術や知識の拡充に努めている。	A
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用促進、サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。	各事業ごとに利用者アンケートを実施するなどして、利用者の意見を聴き、サービスの向上に努めていた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を削減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	コピー用紙などの消耗品の節約や節電に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	適正な人員配置で管理運営が行われた。正規職員から1名、嘱託職員1名、臨時職員から3名が常駐した。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	職員自ら講座の講師を務めたり、セミナーや研修会などに参加したりし、相談技術やコーディネート技術の向上に努めていた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財政状況か。団体の財政状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	指定管理者である「社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会」は安定的に事業を継続できる財政状況であり、管理運営が困難になる恐れはなかった。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	連携及び情報共有	市と指定管理者が連携を取り合い、施設での運営が効果的に行われたか。	「代表者会議」に市担当課職員も参加し、指定管理者及び利用者と情報を共有した。また、指定管理者は利用状況や相談件数の報告書を月に毎月報告を行い、連絡を取り合う体制ができています。	B

## 5. 総合評価

総合評価	ボランティアセンターの設置目的である、市民の自主的な参加による自発的な活動の促進、市民福祉の向上について、指定管理者が指定管理料を効果的に配分しながら、自主事業を展開するなど、費用対効果に優れた管理運営を行うことができた。
指定管理者に対する指示・指導事項	市民活動の拡充、グループ間の交流、活動の支援、利用促進、「災害ボランティアセンター」としての機能の整備などについて、今後も状況に合わせた積極的な取組が行われることを期待する。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	令和4年度は、奈良市ボランティア連絡協議会等の団体と協力し、災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施した。設置運営訓練後、課題の共有を行ったことで、関係者間の連携がより一層強化された。また、Facebookやホームページを駆使してボランティア人材の発掘及び活動の周知を積極的に行うとともに、講座やセミナーを行いボランティア活動の発展を図ることができた。今後も中間支援組織としての役割を果たし、更なる団体の創出や活動の活性化につながる取組を期待している。
-------------------	--

公の施設内に複数の施設がある場合の各施設の名称及び施設稼働率の一覧表

番号	施設名 (例)Aホール、Bホール等	施設稼働率(%)	
		令和4年度	令和3年度
1	会議室1	45.0%	43.0%
2	会議室2	40.0%	38.3%
3	グループ活動室	13.2%	3.6%
4	和室	49.0%	38.3%
5	調理実習室	20.8%	16.9%
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	済美地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	済美地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年12月23日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	538,000	850,150	9,695	10,469	288	33.45	34.98	-
令和3年度	663,000	783,700	7,413	9,695	288	28.69	33.45	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。ロビーのスペースを有効利用するなどして、利用者の多様な希望に応じる工夫がある。又、認知症予防や健康をテーマにしたものや地域内に焦点をあてた事業を開催するなど、地域コミュニティの拠点としての役割を果たす館となっている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	柳生地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	丹生町自治会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年12月25日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	205,000	0	493	521	365	1.36	0.99	-
令和3年度	205,000	0	368	493	365	1.13	1.36	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主グループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。 団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。地域の交流拠点として機能しており、経費節減にも努めながら適切に管理運営されている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--



# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	とみの里地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	東登美ヶ丘地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年12月16日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	995,000	3,278,600	40,286	43,668	299	59.98	64.41	-
令和3年度	1,120,000	3,020,580	37,893	40,286	299	66.70	59.98	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態  
C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主グループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。様々な地域団体が利用しており、毎年恒例の「ふれあい文化祭」は地域住民の交流、ふれあいの場となっている。又、施設の維持管理に対する意識が浸透しており、利用者がルールを守り丁寧に館を利用するよう運営されている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	右京地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	右京地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年12月13日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	213,000	409,000	7,048	9,522	365	38.64	38.12	-
令和3年度	213,000	286,000	9,772	7,048	365	36.56	38.04	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主グループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。各団体の活動の推進を図る他、文化振興や地域交流の充実に寄与する自主事業を実施し、地域コミュニティの拠点としての運営が成されている。また、管理運営方法の見直しを検討し、利用者へのサービス向上につながる取組をされている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	帯解地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	田中町自治会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年12月23日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	98,000	0	1,100	2,185	365	6.14	10.84	-
令和3年度	98,000	0	1,746	1,100	365	11.24	6.14	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。毎年「ふれあいフェスタ」を開催し、地域住民の交流及び文化振興の場となっている。また、定期的に会館内外の清掃を行うなど会館の丁寧な維持管理が浸透している。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	朱雀地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	朱雀地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年6月17日
-------------	--------------	------------	---------	-----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	178,000	578,680	15,817	16,764	358	59.25	66.71	-
令和3年度	158,000	550,000	10,114	15,817	358	59.74	59.25	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。掲示板の利用や業務ルールの遵守等受付業務の合理化により、安定的に継続出来る経営がなされている。又、会館前の広場を整備しキッチンカーフェスタ等地域活動活性化の為に取組を実施しており、地域コミュニティの拠点となっている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--



# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	東市地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	東市地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年11月14日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	(使用料/利用料金)収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	203,000	734,200	6,575	8,810	322	14.46	23.77	-
令和3年度	203,000	104,000	6,913	1,847	322	20.46	14.46	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必用性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必用性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識している。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について適宜説明を実施した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めている。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の活動の場として有効に活用されている。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	地域特性を生かして、地域団体や自主的グループと連携しながら事業を実施している。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図っている。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めている。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの運営実績を基に、地域のニーズに則した運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。 団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めている。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理業務を遂行されたものです。地域団体に多く利用され、地域の交流拠点として機能しています。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	左京地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	左京地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年6月9日
-------------	--------------	------------	---------	----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	178,000	304,800	3,944	5,551	351	8.21	15.28	-
令和3年度	166,000	456,300	4,137	3,944	351	10.64	8.21	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。地域で活動する各団体が利用しており、各種団体が連携して街づくりに取組む為の拠点となっている。また、会館の運営担当者を設定し円滑な会館運営を行っている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	青和地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	青和地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年5月31日
-------------	--------------	------------	---------	-----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	155,000	437,370	7,483	8,176	358	21.86	24.01	-
令和3年度	166,000	456,300	4,945	7,483	351	10.64	8.21	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。地域活動の拠点として、利用団体の活動の活性化に繋がっている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	佐保川地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	佐保川地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年11月14日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	183,000	922,900	14,648	13,963	365	47.69	43.74	-
令和3年度	163,000	818,700	12,189	14,525	365	35.34	45.91	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。利用者が協力し合うなどボランティアの協力を得ながら、地域住民の活動の拠点として適切に運営され、また地域の各種団体の情報発信の拠点としても活用されている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--



# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	辰市地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	辰市地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年12月20日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	195,000	105,900	2,590	2,996	261	9.98	13.81	-
令和3年度	195,000	103,100	3,068	1,847	261	9.98	8.98	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。 団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。定期的な会館の清掃を行うなど、地域の団体等に有用に活用される施設として維持管理に努められている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	月瀬地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	月瀬自治会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年8月31日
-------------	--------------	------------	---------	-----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	93,000	7,000	163	48	365	0.21	0.13	-
令和3年度	93,000	2,000	159	163	365	0.78	0.21	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態  
C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。会館周辺の草刈等、環境維持のための作業を定期的に行われ施設の維持管理に努められている。また、高齢者の交流の場や林間学校のハイキングコースとして芝生の広場が活用されるなど、多様な形で利用されており、地域の交流拠点として機能している。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	西大寺北地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	西大寺北地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年10月17日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	443,000	2,694,350	9,706	11,982	354	34.57	42.03	-
令和3年度	568,000	2,288,250	8,780	9,706	354	36.36	34.57	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態  
C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。地元住民の交流拠点として地域の各団体が多く利用しており、利用者が交代制で清掃を実施するなど、施設維持管理の為に丁寧な利用が利用者にも浸透している。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	佐保台地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	佐保台地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年6月9日
-------------	--------------	------------	---------	----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	170,000	408,950	4,346	5,327	246	25.09	27.41	-
令和3年度	150,000	381,300	3,781	4,346	246	20.98	24.50	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主グループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。また、老朽化した備品の整備をするなど丁寧な施設の維持管理が成されている。利用者の利便性向上の為、利用時間や貸室の用途等について柔軟に対応されている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--



# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	都跡地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	都跡地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実施調査実施日	令和5年3月6日
-------------	--------------	------------	---------	----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	438,000	807,250	6,652	7,006	343	19.97	19.72	-
令和3年度	163,000	699,200	6,533	6,652	343	18.55	19.97	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主グループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。 団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。地域交流の場として利用者が有用に活用できるよう、管理業務に努められている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	大安寺西地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	大安寺西地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実施調査実施日	令和4年7月5日
-------------	--------------	------------	---------	----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	163,000	366,850	4,319	5,204	365	10.96	13.00	-
令和3年度	163,000	197,250	5,330	4,319	365	16.28	10.84	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。園児児童による作品展の開催や「ふれあいフェスティバル」の開催により多世代での交流の場を設定することで、年長者から未就学児まで幅広い層の住民が取り組みに参加しており、地域の交流の拠点となっている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	東里地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	東里地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和 6年3月31日まで (5年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年8月31日
-------------	--------------	------------	---------	-----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	148,000	39,000	1,847	2,002	357	8.17	9.73	-
令和3年度	148,000	37,423	1,748	1,847	357	7.97	8.17	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態  
C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの会館運営経験を基に、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。各種団体やグループに利用されている他、福祉や防災の拠点としての活用に向けて取り組みを推進しており、適切な管理運営が行われている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	佐保地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	佐保地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	令和 2年4月1日から 令和 6年3月31日まで (4年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年12月19日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	283,000	900,000	6,431	11,085	299	16.88	17.58	-
令和3年度	148,000	37,423	4,579	6,431	357	7.97	8.17	-
変動の大きい指標の変動理由	令和4年3月から耐震化改修工事のため休館日があるため開館日数が減少しています。							
特記事項								

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	公民館分館の運営ノウハウを活用し、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。インターネットを利用した利用申込方法を導入し、利用者の利便性の向上に繋がっている。より多くの利用者に活用されるよう広報活動にも取り組み、佐保ふれあい「朝市」が開催される等、地域事業の展開に活かされる施設となっている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--



# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	伏見地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	伏見地区自治連合会 (非公募)	指定の期間	令和 4年4月1日から 令和 6年3月31日まで (2年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年10月17日
-------------	--------------	------------	---------	------------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	236,000	545,600	-	4,223	313	-	10.68	-
令和3年度			-	-	-	-	-	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項	令和4年4月1日開館							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	これまでの連合会運営の経験を基に、他のふれあい会館の視察を行う等情報収集を行うとともに、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。 団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。ホームページを作成して、情報発信や情報共有にも力を入れ、地域の利用者のニーズに沿ったサービスの向上に努めている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	明治地域ふれあい会館	評価主体	市民部 地域づくり推進課
指定管理者	明治地区自治協議会 (非公募)	指定の期間	令和 4年4月1日から 令和 6年3月31日まで (2年間)
設置目的	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	事業報告の確認(年1回)	利用者の満足度調査等	実地調査実施日	令和4年11月8日
-------------	--------------	------------	---------	-----------

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	236,000	416,700	-	5,783	365	-	9.86	-
令和3年度			-	-	-	-	-	-
変動の大きい指標の変動理由								
特記事項	令和4年4月1日開館							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保の重要性・責任について理解があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。 市民の平等利用を阻害し、正当な理由なく一部の市民を優遇する恐れはないか。	公的な地域活動の拠点施設として、市民の平等公平な利用について適切に運営されている。	適
	情報公開に対する考え及び方策	情報公開の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、情報公開の重要性、必要性を認識している。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、法令遵守の重要性、必要性を認識している。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として適正な経理の執行の重要性・責任について認識があり、また、そのための具体的・効果的な方策があるか。	公的な地域活動の拠点施設として、経理の重要性について認識があり、管理担当者を設置し会計処理等を行い、決算書等の報告を行っている。また、管理担当者の交代もあるため、指定管理料の使途について再度説明した。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設等の維持管理の重要性について認識があり、受付業務や管理運営担当者を配置している。また、利用者による施設の丁寧な維持管理が浸透している。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他の施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応の重要性・責任について認識があり、また、そのための方策が具体的・効果的であるか。	施設の安全対策、非常時の対応の重要性について認識があり、防火管理者の選任、避難訓練、利用後の火元や戸締り確認など、指定管理者と利用者が防火対策等に努めた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態  
C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。計画どおりの成果があったか。	地縁団体、地域の各種団体、自主グループ等の利用などを適正に管理、実施し、また事業報告をした。	B
	自主事業実施計画	地域住民の生活課題や関心の高いテーマなどについて自主事業として取り組んでいるか。	それぞれの地域特性を生かして、地域団体や自主のグループと連携しながら協働して事業を実施した。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進及びサービスの向上に具体的・効果的な方策があるか。	利用料金制導入を機に、利用の促進、地域住民の繋がり的重要性等を認識し、利用者へのサービス向上を図った。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	全体的な会館運営が、経費の節減に留意しつつ効果的効率的な内容となっているか。	会館の日常の運営管理、施設の維持管理等にあたり、経費の節減を図りながら効果的な運営に努めた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	円滑な管理運営を行うため地域の実情に合わせた運営体制になっているか。また、施設運営に必要な研修の機会があるか。	地域の実情に即して運営担当者を定め運営当番制とするなど円滑な運営に努めている。また、自主防災会などの団体活動を通じて運営に必要な研修の機会となっている。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	類似施設の管理運営の業務その他の類似事業の実績があり、業務遂行に当たって有用なノウハウを有しているか。	公民館分館の運営ノウハウを活用し、地域のニーズを反映し地域の実情に則した会館運営を行っている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により施設の管理運営が困難になる恐れはないか。	連合会運営を長年にわたり継続されている実績をもとに、地域住民の協力のもと財務の安定的運営に努めた。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	地域等における連携、貢献	地域等における連携、貢献について、具体的・効果的な方策が行われたか。	地域コミュニティの拠点として、地域ふれあい会館を中心に地域の各種団体、自主グループ等の活動を推進した。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者としての業務を履行し、会館の運営管理に対し誠実に業務を遂行された。地域の交流拠点として機能しており、経費節減にも努めながら適切に管理運営されている。
指定管理者に対する指示・指導事項	

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市ならまちセンター	評価主体	市民部 文化振興課
指定管理者	一般財団法人奈良市総合財団 (非公募)	指定の期間	令和3年4月1日から 令和6年3月31日まで (3年間)
設置目的	市民の連帯感の育成と文化・教養の向上を図り、もって市民の福祉の増進とふれあい豊かな地域社会づくりに寄与するため、ならまちセンターを設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報ほか)の確認 ・事業評価シートのヒアリング(年1回)	利用者の満足度調査等	利用者アンケート ・ならまちコンサート(6/26実施)他	実地調査 実施日	-
-------------	--	------------	---------------------------------	-------------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	109,183,088	15,428,160	-	143,337	301	-	(市民ホール)39.9	92
令和3年度	101,368,415	15,630,989	-	85,331	301	-	(市民ホール)33.3	94

変動の大きい指標の変動理由 コロナウイルス感染症の影響が弱まり、ホール等の貸館利用が回復したほか、ならまちセンター1階にて事業展開しているギャラリー展示への入場者が増加した影響で、ならまちセンター利用者が大幅に増加した。

特記事項 -

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	ならまちセンター条例に基づき、市民や観光客が公平に利用できる環境を整えられた。また、貸館の利用者については、厳正な抽選を行い公平性の維持に努められた。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開施行規則等に基づいて、要求があれば速やかに公開できるよう準備された。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	一般財団法人奈良市総合財団として、会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われた。また少ない経費で大きな効果が生まれる予算執行に努められた。現金の取り扱いにも十分注意し、盗難などのトラブルが起こらないように努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	消防計画に基づき、緊急・災害時における職員役割を明確にした自衛消防組織を編成し、当年度の職員配置体制を踏まえた適切な役割分担を計画された。施設・誘導灯・非常灯の確認を徹底している。「来館者の安全を最優先」に事故・災害等が発生したときの対応マニュアルとなる独自の「リスク対応マニュアル」を作成し、職員に教育を行い、災害時の初動体制を確立されている。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	感染症対策を徹底し、豊かな文化芸術の創出、発信を図られた。施設管理事業においては、安心・安全を最優先と考え、施設の維持管理業務を効率的、効果的に行われた。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	自主事業の20事業中8事業が、新型コロナウイルス感染症の流行や相手方の都合等により中止となったが、その中でも、感染症対策を徹底し、ならまちいきいきフェスタやならまち落語会が実施された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	地域のNPO団体や小学校と協働により子どもおん祭を開催するなど、地域と連携し、ならまちの振興を図られた。またサービス向上をめざし、利用者からの意見に柔軟に対応し、利用状況に応じた紹介、打合せの充実など利用者目線での対応を心がけられた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	入札による業者選定など、経費削減を意識した予算執行を行うことで、提案額内で施設の効用を損なうことなく、適切な管理運営が行われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	業務仕様書に基づき適正かつ効果的な職員配置を実施するとともに、時間差出勤制度を導入することで、人件費の削減にも努められた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	施設間の連携により、業務の様々な分野において情報交換等を行うことで、効率的な運営に取り組みられた。また、市で実施する各種研修等にも積極的に参加し、スキルアップに努められた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	予算管理の徹底により健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。今後は、継続的発展が可能な組織としての基盤固めのため、さらなる財務体質の強化に取り組みたい。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	ならまちの中心的な施設のひとつとして、地域住民に対し丁寧な対応を行い、また他施設と積極的に連携するなどして、設置目的である市民の連帯感の育成やふれあい豊かな地域社会づくりに寄与された。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	ならまちの中心的な施設として、地域に密着した事業実施・施設運営に努めていただくとともに、複合施設であることを活かし、これまで以上に人々の憩いの場として活用してもらえるよう努めていただきたい。また、令和3年度に整備した、高速ネットワーク環境の積極的な利用に努めていただきたい。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	ならまちの中心的な施設として、地域に密着した事業実施・施設運営に努めていただくとともに、複合施設であることを活かし、これまで以上に人々の憩いの場として活用してもらえるよう努めていただきたい。また、令和3年度に整備した、高速ネットワーク環境の積極的な利用に努めていただきたい。また、また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。また、新しい生活様式を意識した事業計画の策定に努めてください。 ⇒入館者には手指消毒、検温を実施するなどの新型コロナウイルス感染症対策が行われた。また、ならまちの中心的な施設として、地域コミュニティーの活性化につながる事業が実施された。また、コンサートの配信等、時代の流れに対応する手法を取り入れた文化発信を実施された
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	入江泰吉記念奈良市写真美術館	評価主体	文化振興課
指定管理者	一般財団法人奈良市総合財団 (非公募)	指定の期間	令和2年4月1日から 令和6年3月31日まで (4年間)
設置目的	奈良に関係の深い写真等の展示及び保存等を図り、もって文化の向上に資するため、写真美術館を設置する		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業報告書の確認(年1回)</li> <li>日常の業務報告(月報ほか)の確認</li> <li>事業評価シートのヒアリング(年1回)</li> </ul>	利用者の満足度調査等	利用者アンケート ・没後30年 入江泰吉「文楽」展 (4/8～6/26実施) 他	実地調査 実施日	-
-------------	---	------------	--	-------------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	97,431,855	7,115,880	-	27,935	279	-	62.7	87
令和3年度	90,239,377	5,308,850	-	18,355	193	-	47.7	93

変動の大きい指標の変動理由 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響及び、池防水工事による休館(令和4年1月～3月)もあり利用者数が少なかったが、令和4年度は長期休館もなく、利用者及び稼働率等が増加した。しかし、コロナ禍前の水準(約4万人/年)にはまだ戻っていない。

特記事項 -

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

### (1) 適否評価項目

【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	入江泰吉記念奈良市写真美術館条例に基づき、市民や観光客が公平に利用できる環境を整えられた。また、一般展示室の利用については、厳正な抽選を行い公平性の維持に努められた。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開施行規則等に基づいて、要求があれば速やかに公開できるよう準備された。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	効果的な予算執行に努め、現金等も適正に管理された。また、一般財団法人奈良市総合財団として、会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	消防計画に基づき、緊急・災害時における職員役割を明確にした自衛消防組織を編成し、当年度の職員配置体制を踏まえた適切な役割分担を計画された。施設・誘導灯・非常灯の確認を徹底している。「来館者の安全を最優先」に事故・災害等が発生したときの対応マニュアルとなる独自の「リスク対応マニュアル」を作成し、職員に教育を行い、災害時の初動体制を確立されている。	適

### (2) 点数評価項目

【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態  
C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	感染症対策を徹底し、入江氏や様々な写真家の展示事業を実施された。施設管理事業においては、安心・安全を最優先に考え、効率的・効果的な維持管理に努められた。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	感染症対策を徹底した上で、事業計画に基づき、デジタル写真講座や広報写真展等、幅広い事業を展開された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	他の美術館や教育機関・観光協会等との交流を深めるとともに、ネット環境の普及によるHPやSNS(フェイスブック等)を活用した広報の拡大に尽力された。また、外国人観光客の増加に伴い、英語版リーフレットを作成し、外国人観光客のニーズに応えるよう努められた。なお、トラブルについては、平素より来館者を第一に迅速・的確且つ丁寧な対応を徹底し、苦情・トラブルを未然に防止するよう努められた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	入札による業者選定など、経費削減を意識した予算執行を行うことで、提案額内で施設の効用を損なうことなく、適切な管理運営が行われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	業務仕様書に基づき適正かつ効果的な職員配置を実施するとともに、時間差出勤制度を導入することで、人件費の削減にも努められた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	学芸員(奈良市美術館と兼務)を確保されるとともに、職員全員が美術館を含む他の文化施設等での業務経験があり、蓄積された施設管理や事業に関するノウハウ、経験、実績を保有されている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	予算管理の徹底により健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。今後は、継続的發展が可能な組織としての基盤固めのため、さらなる財務体質の強化に取り組みたい。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	入江氏をはじめとする各種展示会を開催。また、美術館の設置目的である奈良に深い写真等の展示及び保存等を図り、文化の向上に寄与された。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	入江作品のみならず、多様な写真芸術に触れることができる美術館として、事業を展開してください。併せて、アンケート等により利用者のニーズの把握、分析を行い、観覧者数、観覧率の向上に努めてください。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	入江作品のみならず、多様な写真芸術に触れることができる美術館として、事業を展開してください。併せて、アンケート等により利用者のニーズの把握、分析を行い、観覧者数、観覧率の向上に努めてください。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。また、新しい生活様式を意識した事業計画の策定に努めてください。 ⇒新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、入場者数が増加した。前年から引き続き、入江作品に加え、多様なジャンルの写真家の展示会や多数の自主事業を実施された。
-------------------	---



# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市音声館	評価主体	市民部 文化振興課
指定管理者	一般財団法人奈良市総合財団 (非公募)	指定の期間	令和3年4月1日から 令和6年3月31日まで (3年間)
設置目的	伝統的な芸能の継承並びに音楽及び演芸の振興を図り、市民の文化の向上に資するため、音声館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業報告書の確認(年1回)</li> <li>日常の業務報告(月報ほか)の確認</li> <li>事業評価シートのヒアリング(年1回)</li> </ul>	利用者の満足度調査等	利用者アンケート ・ならまちわらべうた教室(5/11～3/16)他	実地調査実施日	-
-------------	---	------------	--------------------------------------	---------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	48,502,898	1,937,350	-	41,752	298	-	(ホール)48.0	100
令和3年度	47,600,000	2,044,150	-	39,847	300	-	(ホール)30.6	100
変動の大きい指標の変動理由	利用者数は微増したものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、コロナ禍前の水準(約6万人/年)には戻っていない。							
特記事項	-							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	奈良市音声館条例に基づき、市民や観光客が公平に利用できる環境を整えられた。また、貸館の利用については、厳正な抽選を行い公平性の維持に努められた。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開実施規則等に基づいて、要求があれば速やかに公開できるよう準備された。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	一般財団法人奈良市総合財団として、会計監査を実施することにより、適正な会計処理を行った。また少ない経費で大きな効果が生まれる予算執行に努めた。現金の取り扱ひにも十分注意し、盗難などのトラブルが起こらないように努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	消防計画に基づき、緊急・災害時における職員役割を明確にした自衛消防組織を編成し、当年度の職員配置体制を踏まえた適切な役割分担を計画された。施設・誘導灯・非常灯の確認を徹底している。「来館者の安全を最優先」に事故・災害等が発生したときの対応マニュアルとなる独自の「リスク対応マニュアル」を作成し、職員に教育を行い、災害時の初動体制を確立されている。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A: 協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B: 協定・業務仕様書等に定める水準どりの状態 C: 協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	感染症対策を徹底し、多世代を対象とした伝統的な芸能の継承並びに音楽及び演芸の振興を図られた。 施設管理事業においては、安心・安全を最優先と考え、効率的・効果的な維持管理に努められた。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	事業計画に基づき、地域行事へ参加し、受講者・参加者に地域の歴史や文化を伝える取り組みや民話の紙芝居等の出張公演や学校園の職員派遣にも取り組み、教育現場でのわらべうた遊びを普及された。実施においては感染症対策を徹底された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	コロナ禍の中、可能な範囲で子ども邦楽教室や、ミニコンサート等を実施し、地域に根付いた施設として常連客の確保に努められた。またわらべうたの動画配信を行うなど、新しい生活様式に即した文化発信を実施された。 日常での接客業務が苦情やトラブル防止の最善策であることを全職員が理解し、丁寧かつ明確な情報提供に努められた。希望に添えない場合には、代替案を提供するなど、対応への不満を感じさせないように心掛けられた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	入札による業者選定など、経費削減を意識した予算執行を行うことで、提案額内で施設の効用を損なうことなく、適切な管理運営が行われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	業務仕様書に基づき適正かつ効果的な職員配置を実施するとともに、時間差出勤制度を導入することで、人件費の削減にも努められた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	施設間の連携により、業務の様々な分野において情報交換等を行うことで、効率的な運営に取り組みられた。また、市で実施する各種研修等にも積極的に参加し、スキルアップに努められた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	予算管理の徹底により健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。今後は、継続的發展が可能な組織としての基盤固めのため、さらなる財務体質の強化に取り組まれない。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することができる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	コロナ対策を徹底した上でわらべうたや民謡の紙芝居、わらべうた教室などを実施することで、設置目的である伝統的な芸能の継承並びに音楽及び演芸の振興に寄与された。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	多世代を対象とした伝統文化の普及啓発のための事業の実施、より効率的な施設管理に努め、地域に密着した施設運営を目指してください。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	<p>わらべうたや奈良の民謡など、伝統文化の普及啓発のための事業の継続実施、より効率的な施設管理に努め、地域に密着した施設運営を目指してください。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。また、新しい生活様式を意識した事業計画の策定に努めてください。</p> <p>⇒入館者には手指の消毒及び検温を実施するなどの新型コロナウイルス感染症対策が行われた。子どもから大人まで幅広い世代へわらべうたや民謡などの伝統文化の普及に努められたほか、コンサートの実施により気軽に音楽に触れる機会を創出するなど、多様な事業を実施された。また、わらべうたの動画配信を行うなど、時代の流れに対応する手法を取り入れた文化発信を実施された。</p>
-------------------	---

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	名勝大乘院庭園文化館	評価主体	市民部 文化振興課
指定管理者	株式会社奈良ホテル (非公募)	指定の期間	令和2年4月1日から 令和7年3月31日まで (5年間)
設置目的	市民の文化の向上を図るとともに、市民及び本市を訪れる観光客の観覧と利便に供するため、名勝大乘院庭園文化館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報ほか)の確認 ・事業評価シートのヒアリング(年1回)	利用者の満足度調査等	利用者アンケート ・第22回庭園講座(7月17日実施)他	実地調査実施日	-
-------------	--	------------	---------------------------------	---------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	12,460,000	442,200		29,238	298	-	展示室 <sup>58.3%</sup>	85
令和3年度	12,240,288	570,600		28,386	276	-	展示室 <sup>48.3%</sup>	94
変動の大きい指標の変動理由	利用者数は微増したもののほぼ横ばいである。依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、コロナ禍前の水準(約4万人/年)には戻っていない。							
特記事項	-							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	奈良市名勝大乘院庭園文化館条例等に基づき、市民や観光客が公平に利用できる環境を整えられた。貸館の利用については、厳正な抽選を行い公平性の維持に努められた。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開実施規則等に基づいて、要求があれば速やかに公開できるよう準備された。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取り扱った。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	株式会社奈良ホテルとして、適正な会計処理を行われた。また少ない経費で大きな効果が生まれる予算執行に努めた。現金の取り扱いにも十分注意し、盗難などのトラブルが起こらないように努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	館内の連絡体制を密にし、安全管理に万全を期し、併せて機械整備が行われた。年2回の消防訓練を実施している。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	感染症対策を徹底し、文化講演会や庭園講座、他施設と連携した展示会など多様な事業を実施された。 施設管理事業においては、安心・安全を最優先と考え、効率的・効果的な維持管理に努められた。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	感染症対策を徹底した上で、事業計画に基づき、庭園講座等、立地や施設の特徴を活かした事業を開催された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	しみんだより、デジタルサイネージの活用、各種情報誌へのPRなど広報活動を強化し、より多くの市民・観光客の方に来館していただけるよう努められた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	入札による業者選定など、経費削減を意識した予算執行を行うことで、提案額内で施設の効用を損なうことなく、適切な管理運営が行われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	施設管理を適切に履行する最低限の職員配置とした。窓口業務に当たり親切的な対応に努めるため、適宜必要な研修(人権、安全関係等)を行なわれた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	旧大乗院敷地内に建つ歴史ある奈良ホテル敷地、お客さまに対して大乗院庭園を紹介・説明してきた経験に基づき、来館者に対応している。また、安全確保について、年2回の消防訓練の実施、避難経路の確保、文化館内の収容人数制限(最大125人)等に配慮した。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	独立性を保ちながら、奈良ホテルとしても当施設は相乗効果が得られる対象である。財務状況に問題はない。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	文化講演会や庭園講座、他施設と連携した展示など、庭園文化の普及やならまちの振興を図り、市民の文化の向上、観光客の観覧と利便に供するという設置目的の達成に寄与された。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	入館者数増加を目指し、これまでの取り組みだけでなく、集客に繋がる新たな事業の企画、既設設備の見直し・改良などを実施してください。さらに、令和2年度に会議室に設置した机と椅子の広報も行うなど、貸館利用者及び利用率の向上に努めて下さい。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	貸館利用者が減少し続けている状況を踏まえ、これまでの取り組みだけでなく、集客に繋がる新たな事業の企画、既設設備の見直し・改良などを実施してください。さらに、令和2年度に会議室に設置した机と椅子の広報も行い、貸館利用者及び利用率の向上に努めて下さい。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。併せて、新しい生活様式を意識した事業計画の策定に努めてください。 ⇒入館者には手指の消毒及び検温を実施するなどの新型コロナウイルス感染症対策が行われた。これまでは企画事業のパンフレットを観光案内所ほか人が集まる箇所に設置するとともに、庭園のパンフレットも併せて設置、また、奈良ホテルと宿泊者の入園促進の連携キャンペーンを実施するなど、入館者数増加に資するための取組を実施された。
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	なら100年会館	評価主体	市民部 文化振興課
指定管理者	一般財団法人奈良市総合財団 (非公募)	指定の期間	令和3年4月1日から 令和6年3月31日まで (3年間)
設置目的	奈良市制100周年を記念して、市民の文化の振興と国際交流をはじめとする地域間交流の促進を図るため、本市に市民ホールを設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報ほか)の確認 ・事業評価シートのヒアリング(年1回)	利用者の満足度調査等	利用者アンケート ・0歳からのオーケストラコンサート with 大阪交響楽団(7/31実施)他	実地調査実施日	-
-------------	--	------------	--	---------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	381,527,084	48,288,839		166,402	302	-	(大ホール)43.1	94
令和3年度	368,953,000	36,748,973		93,350	303	-	(大ホール)36.5	95
変動の大きい指標の変動理由	令和3年度より利用者数は増加しているものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、コロナ禍前の水準(約25万人/年)には戻っていない。							
特記事項	-							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	なら100年会館条例に基づき、市民や観光客が公平に利用できる環境を整えられた。また、貸館の利用については、厳正な抽選を行い公平性の維持に努められた。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開実施規則等に基づいて、要求があれば速やかに公開できるよう準備された。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	一般財団法人奈良市総合財団として、会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われた。また一般競争入札(3年継続契約)を実施し、コスト削減を図った。現金の取り扱いにも十分注意し、盗難などのトラブルが起こらないように努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	施設の安全対策は、保安・警備業務等の委託業者との連携を密にし、常に万全の体制で取り組まれた。また、自衛消防組織を編成しているとともに、管理業務に従事する者の行動規範を定めた「危機管理マニュアル」を遵守し、職員の危機管理意識の向上に努めた。施設閉館中の災害発生時においても、30分以内に出勤できる職員を4名確保された。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	感染症対策を徹底し、文化芸術によって人生を豊かにする事業の充実が図られたが、「奈良が誇る歴史文化を活かした公演」が実施に至らなかった。施設管理事業においては、安心・安全を最優先と考え、施設の維持管理業務を効率的、効果的に行われた。	C
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	コロナウイルスの影響で44事業中8事業が中止となったが、感染症対策を講じた上でプロのアーティストによるコンサートや、クラシックのコンサート等を実施された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	事業別アンケート調査や外部事業評価を活用することでサービスの向上に取り組まれた。 また苦情・トラブルの対応について職員研修を行い、電話、窓口、インフォメーション等で、利用者の立場に立った心配りのある対応を行った。苦情があった場合もお客様の立場に立ち適切に対応することで、トラブルの拡大を防ぎ、速やかに解決するよう努められた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	入札による業者選定など、経費削減を意識した予算執行を行うことで、提案額内で施設の効用を損なうことなく、適切な管理運営が行われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	業務仕様書に基づき適正かつ効果的な職員配置を実施するとともに、時間差出勤制度を導入することで、人件費の削減にも努められた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	施設間の連携により、業務の様々な分野において情報交換等を行うことで、効率的な運営に取り組みられた。また、市で実施する各種研修等にも積極的に参加し、スキルアップに努められた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	予算管理の徹底により健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。今後は、継続的發展が可能な組織としての基盤固めのため、さらなる財務体質の強化に取り組まれない。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	多様なイベントの受け入れだけでなく、体操教室等地域と一体となった参加型事業を展開することで、市民文化の振興や地域間交流の促進という設置目的の達成に寄与された。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	奈良の文化振興における拠点施設として、「奈良が誇る歴史文化を活かした公演」をはじめ、奈良の魅力発信・地域とのつながりの醸成・社会包摂的な事業等、幅広い事業を展開するとともに、令和2年度に整備した高速ネットワーク環境を利用するなど、より多くの市民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供できるよう努めていただきたい。また、施設・設備の劣化に伴い、これまで以上に安全性の確保が求められるため、市と協力・協議のうえ、適切な施設管理に努めていただきたい。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	奈良の文化振興における拠点施設として、奈良の魅力発信・地域とのつながりの醸成・社会包摂的な事業等、幅広い事業を展開するとともに、令和2年度に整備した高速ネットワーク環境を利用するなど、より多くの市民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供できるよう努めていただきたい。また、施設・設備の劣化に伴い、これまで以上に安全性の確保が求められるため、市と協力・協議のうえ、適切な施設管理に努めていただきたい。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保した施設の管理に努め、新しい生活様式を意識した事業計画の策定に努めていただきたい。企画事業として指定管理更新時に提案された「奈良の魅力の創造・発信と伝統文化の継承・普及事業」の柱事業のひとつ、万葉オペラ・ラボ事業がコロナ禍のため中止となったが、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、今後の事業展開を検討されたい。 ⇒入館者には手指消毒、検温を行うなどの新型コロナウイルス感染症対策が実施された。事業においては、プロのアーティストによるコンサートや、クラシックコンサート等の、人生を豊かにする事業の充実が図られたが、万葉オペラ事業等、「奈良が誇る歴史文化を活かした公演」は実施に至らなかった。また、コロナ禍の影響により、能楽普及事業などが中止となったが、外部事業評価を導入することで、外部有識者の意見を事業運営に活かす工夫をされた。
-------------------	---

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	なら100年会館駐車場	評価主体	市民部 文化振興課
指定管理者	日本パーキング株式会社 (公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和6年3月31日まで (5年間)
設置目的	市民の文化の振興と国際交流をはじめとする地域間交流の促進を図るため設置された市民ホール利用者のための駐車場		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報ほか)の確認 ・事業評価シートのヒアリング(年1回)	利用者の満足度調査等	-	実地調査実施日	-
-------------	--	------------	---	---------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	利用料金収入※2 (円)	利用者数 (台数)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	4,899,026	8,879,250	-	15,255	364	-	-	-
令和3年度	3,614,000	6,840,100	-	11,954	364	-	-	-
変動の大きい指標の変動理由	新型コロナウイルス感染症のために、なら100年会館が臨時休館になるなどした令和3年度と比べ、状況が若干落ち着いたこともあり、駐車場利用者が増加した。							
特記事項	-							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え方及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	なら100年会館条例に基づき、なら100年会館利用者等が公平に利用できる環境を整えられた。	適
	情報公開に対する考え方及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	個人情報の適正管理・保護の重要性を認識し、個人情報保護方針・情報開示に関する基本方針等を定め、これらの遵守に努められた。	適
	法令遵守に対する考え方及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	コンプライアンスマニュアルを策定し、社員・現場スタッフにも配布され徹底に努められた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	経理については、システム導入により不正等の発生防止に努められ、適正かつ効率的な管理を実施された。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え方及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	危機管理対応体制を確立させ、施設の安全管理に努められた。また、事故・トラブルについては適宜報告・共有を図り、業務改善に努められた。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	新型コロナウイルス感染症のために、なら100年会館が臨時休館になるなどした令和3年度と比べ、利用台数は回復傾向にある。 駐車場運営については計画に基づき適正に実施されていた。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	該当なし。	
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	現地スタッフが一次対応にあたるよう研修を実施したほか、遠隔監視システムによりコールセンターや大阪支店と連携して問題解決に当たられた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	類似駐車場の管理実績を生かし、適正かつ効率的な経費執行により、施設の効用を損なわず施設の管理運営に努められた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	業務仕様書に基づき適正に職員を配置され、運営業務にあたられた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	類似駐車場の管理実績を生かし、接遇研修や問題可決力育成研修などを実施し人材育成に努められた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	本社の経営状態は、健全な経営と安定した財務状況にある。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することができる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	類似駐車場の管理実績を生かし、これまで当駐車場になかったシステム・サービスを積極的に導入されている。地域経済への配慮や、市の取組みへの理解・協力にも積極的であり、なら100年会館附設駐車場としての設置目的を達成された。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	なら100年会館の附設駐車場として、なら100年会館と連携した施設管理を行うよう努めてください。また、利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	なら100年会館の附設駐車場として、なら100年会館と連携した施設管理を行うよう努めてください。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。また、新しい生活様式を意識した事業計画の策定に努めてください。 ⇒公共駐車場としての安心・安全の提供をめざし、予防保全管理を前提とし、施設管理や危機管理の体制を構築された。現場管理人や定期巡回スタッフにはマスクの着用を義務付け、感染拡大防止に努められた。
-------------------	--



# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市杉岡華邨書道美術館	評価主体	市民部 文化振興課
指定管理者	一般財団法人奈良市総合財団 (非公募)	指定の期間	令和2年4月1日から 令和7年3月31日まで (5年間)
設置目的	書道作品及び資料の保存、展示等を行い、市民の書道芸術の学習、鑑賞等に寄与し、もって豊かな市民文化の形成を図るため、書道美術館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業報告書の確認(年1回)</li> <li>日常の業務報告(月報ほか)の確認</li> <li>事業評価シートのヒアリング(年1回)</li> </ul>	利用者の満足度調査等	利用者アンケート ・書道実技講座「かなの散らしを楽しむ」(7/17実施) 他	実地調査実施日	-
-------------	---	------------	--	---------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	35,988,738	467,220	-	4,134	283	-	-	96
令和3年度	35,581,821	346,920	-	2,590	259	-	-	89

変動の大きい指標の変動理由 令和3年度より利用者数は増加しているものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、コロナ禍前の水準(約8000人/年)には戻っていない。

特記事項 -

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	杉岡華邨書道美術館条例に基づき、市民や観光客が公平に利用できる環境を整えられた。また、講座等については、しみんだよりやホームページで告知、事前応募を原則とし、公平性の維持に努められた。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開実施規則等に基づいて、要求があれば速やかに公開できるよう準備された。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	一般財団法人奈良市総合財団として、会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われた。また少ない経費で大きな効果が生まれる予算執行に努められた。現金の取り扱いにも十分注意し、盗難などのトラブルが起らないように努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	消防計画に基づき、緊急・災害時における職員役割を明確にした自衛消防組織を編成し、当年度の職員配置体制を踏まえた適切な役割分担を計画された。施設・誘導灯・非常灯の確認を徹底している。「来館者の安全を最優先」に事故・災害等が発生したときの対応マニュアルとなる独自の「リスク対応マニュアル」を作成し、職員に教育を行い、災害時の初動体制を確立されている。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	新型コロナウイルス感染対策を徹底し、可能な範囲で企画展・館蔵展を実施された。施設管理事業においては、安心・安全を最優先に考え、施設の維持管理業務を効率的、効果的に行われた。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	感染症対策を徹底した上で、展覧会の趣旨を深く理解していただくための文化講座や列品解説講座の実施や、出張パネル展・筆書き体験コーナーといった普及事業を実施することで、幅広い市民に書道文化に触れていただく機会を創出された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	新しい生活様式に対応するため、書道講座や美術館関連の情報を動画発信された。また、来館者を第一に迅速・的確かつ丁寧な対応を徹底し、苦情・トラブルの未然防止に努められた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	入札による業者選定など、経費削減を意識した予算執行を行うことで、提案額内で施設の効用を損なうことなく、適切な管理運営が行われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	業務仕様書に基づき適正かつ効果的な職員配置を実施するとともに、時間差出勤制度を導入することで、人件費の削減にも努められた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	施設間の連携により、業務の様々な分野において情報交換等を行うことで、効率的な運営に取り組みられた。また、市で実施する各種研修等にも積極的に参加し、スキルアップに努められた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	予算管理の徹底により健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。今後は、継続的発展が可能な組織としての基盤固めのため、さらなる財務体質の強化に取り組みたい。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	杉岡氏をはじめとする各種展覧会を開催。書家を招いての講演会や学芸員の解説を行ったほか、子ども向けに「筆書き体験コーナー」を設置するなど幅広い世代の市民に芸術性の高い作品の素晴らしさを感じる機会を提供された。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	幅広い市民が杉岡作品・書道文化に触れる機会を提供し普及啓発に努めるとともに、展覧会・講座においてアンケートを実施することで利用者のニーズを的確に把握し、適切な施設運営を実施するよう努めていただきたい。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	幅広い市民が杉岡作品・書道文化に触れる機会を提供し普及啓発に努めるとともに、展覧会・講座においてアンケートを実施することで利用者のニーズを的確に把握し、適切な施設運営を実施するよう努めていただきたい。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。また、新しい生活様式を意識した事業計画の策定に努めてください。 ⇒人数を減らして書道文化講座を実施するなど、コロナ禍の中、可能な限り書道文化に触れる機会の創出に努められた。また、展覧会ごとのアンケートを実施し、観覧者の客層・ニーズ等の把握に努められた。また、入館者には手指消毒、検温を実施するなどし、新型コロナウイルス感染症対策を行ったほか、作品解説の動画配信を行う等、新しい生活様式に即した事業も展開された。
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市西部会館市民ホール	評価主体	市民部 文化振興課
指定管理者	日本環境マネジメント株式会社 (公募)	指定の期間	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
設置目的	市民の連帯感の育成と文化の向上を図り、もってふれあい豊かな地域社会づくりに寄与するため、市民ホールを設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報ほか)の確認 ・事業評価シートのヒアリング(年1回)	利用者の満足度調査等	利用者アンケート ・ワンコインコンサート(5/27実施)他	実地調査実施日	-
-------------	--	------------	----------------------------------	---------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	40,855,952	11,506,830	-	28,498	300	-	(ホール)43.1	95
令和3年度	40,704,744	10,170,270	-	21,758	275	-	(ホール)42.6	96
変動の大きい指標の変動理由	令和3年度より利用者数は増加しているものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、コロナ禍前の水準(約4万人/年)には戻っていない。							
特記事項	-							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	奈良市西部会館市民ホール条例に基づき、市民が公平に利用できる環境を整えられた。また、ホールの利用については、厳正な抽選を行い公平性の維持に努められた。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開実施規則等に基づいて、要求があれば速やかに公開できるよう準備された。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	本社とも連携しながら、適正な会計処理が行われた。また少ない経費で大きな効果が生まれる予算執行、現金の取り扱いにも十分注意し、盗難などのトラブルが起こらないように努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	西部会館管理組合と連携し、適正に各施設を監視するとともに、ビル全体の防災訓練に参加するなど、積極的な安全対策を実施された。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	新型コロナウイルス感染対策を講じた上で事業を実施し、市民の連帯感の育成と文化の向上、ふれあい豊かな地域社会づくりに寄与された。施設管理事業においては、安心・安全を最優先に考え、施設の維持管理業務を効率的、効果的に行われた。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	事業計画に基づき、寄席や各種コンサートといった鑑賞事業だけでなく、ピアノ体験演奏会などといった、直接文化に触れることのできる事業も実施し、幅広い市民が参加された。実施においては感染症対策が徹底された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	事業アンケート実施によるニーズの把握、各種公演状況のウェブサイトへの掲載など、市民が利用しやすい環境づくりに努められた。また、常駐従事者は各種研修に参加された。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設管理については、委託業者と適宜情報共有をはかり、快適な環境維持に努められた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	業務仕様書に基づき適正に職員を配置され、運営業務にあたられた。また、本社職員が運営サポートとして適宜事業運営のバックアップ及びサポートにあたられた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	常駐従事者については、OJTとして個人情報保護研修、普通救命講習、上級救命講習を受講し、サービスの向上に努められた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	本社の経営状態は、健全な経営と安定した財務状況にある。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	西部公民館や地域団体と連携するなど、地域に根差した事業を実施し市民の連帯感を強められた。また、様々なコンテンツを自主事業として提供することで市民の文化の向上といった設置目的の達成に寄与された。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	アンケートの実施により市民ニーズを的確に把握し、より質が高く市民に求められる事業を展開するとともに、効率的かつ安全・安心な施設管理に努めていただきたい。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	アンケートの実施により市民ニーズを的確に把握し、より質が高く市民に求められる事業を展開するとともに、効率的かつ安全・安心な施設管理に努めていただきたい。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。また、新しい生活様式を意識した事業計画の策定に努めてください。 ⇒入館者には手指消毒、検温を実施するなどの新型コロナウイルス感染症対策が行われた。また、アンケート実施による利用者の満足度調査、ニーズの把握を行うなど、利用者目線に立った事業運営に努められた。また、学園前地域の活性化につながる事業を展開した。
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市美術館	評価主体	市民部 文化振興課
指定管理者	一般財団法人奈良市総合財団 (非公募)	指定の期間	令和3年4月1日から 令和6年3月31日まで (3年間)
設置目的	市民の美術鑑賞と創作活動の活性化に寄与し、もって豊かな市民文化の形成を図るため、美術館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報ほか)の確認 ・事業評価シートのヒアリング(年1回)	利用者の満足度調査等	利用者アンケート ・奈良市美術館活性化事業「妖怪POP 妖怪書家逢香展」(7/16~8/21実施)他	実地調査実施日	-
-------------	--	------------	---	---------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	33,585,250	4,880,000	-	40,309	300	-	(第1展示室)70.1	98
令和3年度	33,445,015	1,430,000	-	24,205	303	-	(第1展示室)60.4	98
変動の大きい指標の変動理由	令和3年度より利用者数は増加しているものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、コロナ禍前の水準(約6万人/年)には戻っていない。							
特記事項	-							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	奈良市美術館条例に基づき、市民や観光客が公平に利用できる環境を整えられた。また、展示室の利用者については、厳正な抽選を行い公平性の維持に努められた。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開施行規則等に基づいて、要求があれば速やかに公開できるよう準備された。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	一般財団法人奈良市総合財団として、会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われた。また少ない経費で大きな効果が生まれる予算執行に努められた。現金の取り扱いにも十分注意し、盗難などのトラブルが起こらないように努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	消防計画に基づき、緊急・災害時における職員役割を明確にした自衛消防組織を編成し、当年度の職員配置体制を踏まえた適切な役割分担を計画された。施設・誘導灯・非常灯の確認を徹底している。「来館者の安全を最優先」に事故・災害等が発生したときの対応マニュアルとなる独自の「リスク対応マニュアル」を作成し、職員に教育を行い、災害時の初動体制を確立されている。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A：協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B：協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C：協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、奈良市美術家展や市展なら等の展示事業を実施された。また、「奈良市美術館活性化事業『妖怪POP 妖怪書家 逢香展』」が好評を博し、計画以上の効果があった。施設管理事業においては、安心・安全を最優先に考え、施設の維持管理業務を効率的、効果的に行われた。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	奈良市美術家協会と共催で市民実技講座、作品展を実施することにより、市民の創作活動の活性化に寄与された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	事業別アンケートにより、外部の方の意見を把握することで、サービスの向上に努められた。 苦情に対しても、お客様の立場に立って内容を適切に把握し、トラブルの拡大を防ぎ、迅速対応するよう努められた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。 創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	入札による業者選定など、経費削減を意識した予算執行を行うことと、提案額内で施設の効用を損なうことなく、適切な管理運営が行われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	業務仕様書に基づき適正かつ効果的な職員配置を実施するとともに、時間差出勤制度を導入することで、人件費の削減にも努められた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	学芸員(写真美術館と兼務)を確保されるとともに、職員全員が美術館を含む他の文化施設等での業務経験があり、蓄積された施設管理や事業に関するノウハウ、経験、実績を保有されている。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。 団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	予算管理の徹底により健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。今後は、継続的発展が可能な組織としての基盤固めのため、さらなる財務体質の強化に取り組まねばならない。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	市と協力し、市展ならを開催する他、奈良市美術家協会との共催事業として市民実技講座やその作品展を開催するなど、施設の設置目的である市民の美術館賞と創作活動の活性化に寄与された。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	周囲の状況・利用者のニーズをアンケートの実質等により適切に把握し、利用者増加に向けた事業の企画・実施に取り組んでいただきたい。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	周囲の状況・利用者のニーズを適切に把握し、利用者増加に向けた事業の企画・実施に取り組んでいただきたい。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。また、新しい生活様式を意識した事業計画の策定に努めてください。 ⇒ミ・ナーラの客層を考慮し、子ども・家族層をターゲットとしたワークショップ等を実施した。令和4年度は、「奈良市美術館活性化事業『妖怪POP 妖怪書家 逢香展』」など、利用者増加に向けた事業を実施された。また、入館者には手指消毒、検温を実施するなどし、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
-------------------	--

# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	奈良市北部会館市民文化ホール	評価主体	市民部 文化振興課
指定管理者	一般財団法人奈良市総合財団 (公募)	指定の期間	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで (5年間)
設置目的	市民の自主的な文化活動の促進、教養の向上及び健康の保持を図り、もって市民の福祉の増進に資するため、北部会館を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	・事業報告書の確認(年1回) ・日常の業務報告(月報ほか)の確認 ・事業評価シートのヒアリング(年1回)	利用者の満足度調査等	利用者アンケート ・癒しのオータムコンサート(11/27実施)他	実地調査 実施日	-
-------------	--	------------	-------------------------------------	-------------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	32,988,738	7,549,910	-	57,658	300	-	(ホール)64.1	97
令和3年度	32,200,000	6,543,635	-	46,418	301	-	(ホール)51.4	90
変動の大きい指標の変動理由	令和3年度より利用者数は増加しているものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、コロナ禍前の水準(約9万人/年)には戻っていない。							
特記事項	-							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	奈良市北部会館市民文化ホール条例に基づき、市民が公平に利用できる環境を整えられた。また、貸館利用については、厳正な抽選を行い公平性の維持に努められた。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開実施規則等に基づいて、要求があれば速やかに公開できるよう準備された。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	一般財団法人奈良市総合財団として、会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われた。また少ない経費で大きな効果が生まれる予算執行に努められた。現金の取り扱いにも十分注意し、盗難などのトラブルが起こらないように努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	消防計画に基づき、緊急・災害時における職員役割を明確にした自衛消防組織を編成し、当年度の職員配置体制を踏まえた適切な役割分担を計画された。施設・誘導灯・非常灯の確認を徹底している。「来館者の安全を最優先」に事故・災害等が発生したときの対応マニュアルとなる独自の「リスク対応マニュアル」を作成し、職員に教育を行い、災害時の初動体制を確立されている。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	新型コロナウイルス感染症の流行により、多くの事業が中止となったが、その中でも、市民の自主的な文化活動の促進、教養の向上及び健康の保持を図られた。施設管理事業においては、安全・安心を最優先と考え、施設の維持管理業務を効率的、効果的に行われた。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	新型コロナウイルス感染症のため、32事業中6事業が中止となったが、感染症対策を徹底した上で、地域の活発な文化活動の更なる振興のため、地域の各種団体等と協力した事業や文化講座、各種コンサートの開催など幅広い事業を実施され、多くの市民が参加された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	貸館事業においては、「親切」「丁寧」「心配り」を基本とした対応を心がけ、アンケートなどにより市民のニーズを把握するなど、幅広い世代が気持ちよく利用できるようサービスの向上に努められた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	入札による業者選定など、経費削減を意識した予算執行を行うことで、提案額内で施設の効用を損なうことなく、適切な管理運営が行われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	業務仕様書に基づき適正かつ効果的な職員配置を実施するとともに、時間差出勤制度を導入することで、人件費の削減にも努められた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	施設間の連携により、業務の様々な分野において情報交換等を行うことで、効率的な運営に取り組みました。また、市で実施する各種研修等にも積極的に参加し、スキルアップに努められた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	予算管理の徹底により健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。今後は、継続的發展が可能な組織としての基盤固めのため、さらなる財務体質の強化に取り組みたい。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	多様な文化講座の開催や、地域団体と協働した地域に根差した事業の開催など、市民の自主的な文化活動の促進、教養の向上及び健康の保持といった設置目的の達成に寄与された。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	アンケート実施の継続により詳細な市民ニーズの把握に努め、文化講座の内容等を精査することで、より多くの市民が求める事業を実施し、幅広い世代が利用できる施設運営に努めていただきたい。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	継続したアンケート実施により詳細な市民ニーズの把握に努め、文化講座の内容等を精査することで、より多くの市民が求める事業を実施し、幅広い世代が利用できる施設運営に努めていただきたい。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。また、新しい生活様式を意識した事業計画の策定に努めてください。 ⇒多様な文化講座、気軽に参加可能なワンコインコンサート、地域住民と協働で実施する文化祭など、幅広い文化事業を実施された。また、入館者には手指消毒、検温を実施するなどの新型コロナウイルス感染症対策が行われた。
-------------------	--



# 指定管理者評価表（令和4年度）

## 1. 施設概要

施設名	入江泰吉旧居	評価主体	市民部 文化振興課
指定管理者	一般財団法人奈良市総合財団 (公募)	指定の期間	平成31年4月1日から 令和6年3月31日まで (5年間)
設置目的	奈良を愛した写真家入江泰吉の旧居を保存し、及び活用することにより、その業績の顕彰を図り、もって奈良を愛する心を育むとともに、文化の向上に資するため、入江泰吉旧居を設置する。		

## 2. モニタリングの主な手法

モニタリングの主な手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業報告書の確認(年1回)</li> <li>日常の業務報告(月報ほか)の確認</li> <li>事業評価シートのヒアリング(年1回)</li> </ul>	利用者の満足度調査等	利用者アンケート ・入江旧居で、はじめの一句 (04/17実施)他	実地調査 実施日	-
-------------	---	------------	---	-------------	---

## 3. モニタリングの主な指標

主な指標	指定管理料※1 (円)	使用料収入※2 (円)	利用者数 (人)		開館日数 (日)	施設稼働率 (%)		利用者満足度 (%)
			目標	実績		目標	実績	
令和4年度	10,566,000	480,900	-	3,974	306	-	-	95
令和3年度	10,362,975	363,600	-	3,543	282	-	-	97
変動の大きい指標の変動理由	令和3年度より利用者数は増加しているものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、コロナ禍前の水準(約6000人/年)には戻っていない。							
特記事項	-							

※1 指定管理料とは、市が施設の管理・運営に係る費用として指定管理者へ支払う委託料のこと。

※2 使用料とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者の収入ではなく市の歳入となる公金。

利用料金とは、公の施設の利用に伴い徴収する料金であり、指定管理者が施設を管理・運営していくための収入として収受させることができる。

※3 施設稼働率の算定方法：稼働時間/貸し出し可能時間

## 4. 項目別評価

(1) 適否評価項目 【評価基準】 適：指定管理者としてふさわしい状態、否：指定管理者としてふさわしくない状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	市民による平等利用に対する考え及び方策	市民による平等利用の確保について、具体的・効果的な方策が行われたか。 正当な理由なく一部の市民を優遇していないか。	入江泰吉旧居条例に基づき、市民や観光客が公平に利用できる環境を整えた。また、講座等については、しみんだよりやホームページで告知、事前応募を原則とし、必要な場合は厳正な抽選を行い公平性の維持に努められた。	適
	情報公開に対する考え及び方策	市民に対する情報公開について、具体的・効果的な方策が行われたか。	施設の管理運営に関する情報や指定管理者に関する情報については、奈良市情報公開実施規則等に基づいて、要求があれば速やかに公開できるよう準備された。	適
	法令遵守に対する考え及び方策	法令遵守について、具体的・効果的な方策が行われたか。	奈良市の公の施設における指定管理者の指定の手続きに関する条例、奈良市個人情報保護条例及び個人情報の保護に関する規則等関係法令の規定に基づき公平な管理運営を行い、適正に取り扱われた。	適
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	経理の適正性	公の業務として、適正な経理の執行が適正に行われたか。	一般財団法人奈良市総合財団として、会計監査を実施することにより、適正な会計処理が行われた。また少ない経費で大きな効果が生まれる予算執行に努められた。現金の取り扱いにも十分注意し、盗難などのトラブルが起こらないように努められた。	適
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	施設の維持管理に対する考え及び方策	施設・備品等の保全、設備の保守・点検その他施設の維持管理について、業務仕様書に定める水準どおり行われたか。	業務管理計画に基づき、効率的、効果的な保守点検、維持管理業務を実施された。また施設、設備の修繕・更新については、安全・安心を最優先と考え、迅速に対応がなされた。	適
	施設の安全対策、非常時の対応に対する考え及び方策	施設の保安・警備その他施設の安全対策、事故・災害等の非常時の対応について、業務仕様書に定める水準どおりに行われたか。	消防計画に基づき、緊急・災害時における職員役割を明確にした自衛消防組織を編成し、当年度の職員配置体制を踏まえた適切な役割分担を計画された。施設・誘導灯・非常灯の確認を徹底している。「来館者の安全を最優先に」事故・災害等が発生したときの対応マニュアルとなる独自の「リスク対応マニュアル」を作成し、職員に教育を行い、災害時の初動体制を確立されている。	適

(2) 点数評価項目 【評価基準】 A:協定・業務仕様書等に定める水準を上回る状態 B:協定・業務仕様書等に定める水準どおりの状態 C:協定・業務仕様書等に定める水準を下回る状態

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	事業実施計画	事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	感染症対策を徹底し、旧居を保存し活用することにより入江氏の業績の顕彰を図られた。施設管理事業においては、安心・安全を最優先に考え、計画どおり施設の維持管理業務を効率的、効果的に行われた。	B
	自主事業実施計画	自主事業実施計画どおりに事業が実施されたか。 計画どおりの効果があったか。	感染症対策を徹底した上で、事業計画に基づき、入江氏に関する各種講座、散策ツアーなどを実施された。	B
	利用の促進、サービスの向上の方策	利用の促進・サービスの向上について、具体的・効果的な方策が行われたか。 苦情・トラブルの適切な対応・防止について、具体的・効果的な方策	HPやSNSを活用した広報を行うことでイベント情報や施設情報を広く発信することで、市民や観光客が利用しやすいよう努められた。	B

区分	評価項目	評価の着眼点	実施内容	評価
事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	指定管理料の提案額	施設の効用を損なわず、提案額内で施設を管理運営できているか。 創意工夫で経費を縮減することについて、具体的・効果的な方策が行われたか。	入札による業者選定など、経費削減を意識した予算執行を行うことで、提案額内で施設の効用を損なうことなく、適切な管理運営が行われた。	B
事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	職員の配置、勤務体制及び研修計画	業務仕様書に定める水準(労働関係法規の遵守を含む。)を満たし、効果的な職員の配置・勤務体制(指揮系統、責任権限含む。)であったか。	業務仕様書に基づき適正かつ効果的な職員配置を実施するとともに、時間差出勤制度を導入することで、人件費の削減にも努められた。	B
	類似事業の実績、ノウハウ	業務遂行のために必要な職員の確保・育成のために、職員の採用及び研修・指導に関する具体的・効果的な方策が行われたか。	施設間の連携により、業務の様々な分野において情報交換等を行うことで、効率的な運営に取り組みられた。また、市で実施する各種研修等にも積極的に参加し、スキルアップに努められた。	B
	財務状況の健全性	指定の期間内に、安定的に事業を継続できる財務状況か。 団体の財務状況の悪化により、施設の管理運営が困難になるおそれはないか。	予算管理の徹底により健全で安定的な事業運営が行われた。財団は経営を圧迫するような負債もなく、財政状況は健全である。今後は、継続的發展が可能な組織としての基盤固めのため、さらなる財務体質の強化に取り組みたい。	B
その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	団体の適合性	効果的に公の施設の設置目的を達成できる団体であるか。	入江氏の人となりを知ることができる各種講座や散策ツアーなど幅広い事業を実施されており、設置目的である、旧居を保存し、活用することにより、その業績の顕彰を図られた。	B

## 5. 総合評価

総合評価	指定管理者として、概ね適正・効率的に施設の運営・事業が実施された。
指定管理者に対する指示・指導事項	これまでの実績を分析し、入江泰吉氏の功績や作品の魅力を広く発信するとともに、文化活動の場としての施設運営を推進するために、具体的なスケジュールを立てて、事業実施に努めていただきたい。

## 6. 前年度の指示・指導事項に対する改善状況

前年度の指示・指導事項及び改善状況	引き続き、これまでの実績を分析し、施設運営に反映させるとともに、提案された事業計画に基づき、具体的なスケジュールを立てて、事業実施に努めていただきたい。また、新型コロナウイルスの影響を考慮し、感染防止策の徹底により利用者の安全を確保し、施設の管理に努めてください。 ⇒入江泰吉の人となりに触れる各種講座やコーディネータによる旧居案内など、事業計画に基づき多様な文化事業を実施された。また、入館者には手指消毒、検温を実施するなど、新型コロナウイルス感染症対策が行われた。
-------------------	---